資料編〈財務関連データ〉

三井住友信託銀行

連結	
主な業績指標	66
中間連結財務諸表	67
金融商品関係	78
有価証券関係	81
金銭の信託関係	83
その他有価証券評価差額金	84
デリバティブ取引関係	85
セグメント情報	92
リスク管理債権の状況	95
金融再生法に基づく資産区分の状況	95
単体	
主な業績指標	96
中間財務諸表	97
有価証券関係	104
金銭の信託関係	107
その他有価証券評価差額金	107
デリバティブ取引関係	108
損益の状況	115
銀行業務の状況	120
信託業務の状況	128
総資金量	133
併営業務等の状況	134
貸倒引当金等の状況	135
リスク管理債権の状況	136
金融再生法に基づく資産査定の開示及び保全率	136
資本・株式の状況	137

主な業績指標

最近３中間事業年度及び２事業年度の主要指標

（単位：百万円）

	平成24年度中間期	平成25年度中間期	平成26年度中間期	平成24年度	平成25年度
連結経常収益	552,349	601,233	**569,150**	1,100,746	1,176,118
資金運用収益	175,154	177,957	**180,656**	345,665	360,698
信託報酬	43,100	48,698	**49,418**	89,878	99,222
連結経常費用	469,296	483,025	**425,916**	867,784	931,359
資金調達費用	61,669	68,874	**62,554**	127,175	134,050
連結経常利益	83,052	118,207	**143,233**	232,962	244,759
連結中間（当期）純利益	53,366	68,008	**81,309**	125,188	134,427
連結（中間）包括利益	11,070	149,596	**175,662**	262,840	225,421
連結純資産額	2,277,608	2,329,854	**2,388,874**	2,270,724	2,278,489
連結総資産額	33,791,688	39,411,467	**41,861,595**	36,432,931	40,178,429
1株当たり純資産額	1,110.61円	1,170.30円	**1,246.87円**	1,106.90円	1,181.15円
1株当たり中間（当期）純利益金額	30.49円	39.23円	**47.17円**	72.00円	77.52円
潜在株式調整後1株当たり中間（当期）純利益金額	－円	－円	**－円**	－円	－円
預金残高	21,975,827	23,693,551	**23,988,302**	22,997,707	24,094,545
貸出金残高	21,101,679	22,702,147	**24,412,632**	22,194,917	23,689,058
有価証券残高	6,791,032	5,565,216	**5,134,088**	6,180,225	5,629,697
信託財産残高	126,273,341	133,662,914	**143,664,863**	127,042,831	136,794,720
連結自己資本比率（国際統一基準）	16.28%				
連結普通株式等Tier Ⅰ比率 (注)		9.41%	**8.76%**	8.61%	9.19%
連結Tier Ⅰ比率 (注)		10.38%	**9.52%**	9.49%	10.00%
連結総自己資本比率 (注)		15.14%	**13.38%**	13.75%	14.03%

（注）平成24年度よりバーゼルⅢ基準を適用し、連結普通株式等Tier Ⅰ比率、連結Tier Ⅰ比率、連結総自己資本比率を記載しております。

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	平成25年度中間期 平成25年9月30日現在	平成26年度中間期 平成26年9月30日現在
（資産の部）		
現金預け金	6,092,228	**7,438,437**
コールローン及び買入手形	368,205	**411,849**
買現先勘定	84,850	**109,593**
債券貸借取引支払保証金	295,887	**307,593**
買入金銭債権	670,533	**629,433**
特定取引資産 (注) 2,8	574,524	**536,040**
金銭の信託	13,293	**1,432**
有価証券 (注) 1,2,8,14	5,565,216	**5,134,088**
貸出金 (注) 3,4,5,6,7,8,9	22,702,147	**24,412,632**
外国為替	32,881	**10,985**
リース債権及びリース投資資産 (注) 8	536,729	**533,827**
その他資産 (注) 8	1,576,030	**1,413,483**
有形固定資産 (注) 10,11	237,892	**233,051**
無形固定資産	199,192	**148,299**
退職給付に係る資産	ー	**112,381**
繰延税金資産	19,050	**18,181**
支払承諾見返	556,592	**504,944**
貸倒引当金	△113,788	**△94,660**
資産の部合計	39,411,467	**41,861,595**
（負債の部）		
預金 (注) 8	23,693,551	**23,988,302**
譲渡性預金	4,813,891	**6,490,378**
コールマネー及び売渡手形	182,272	**300,184**
売現先勘定 (注) 8	1,145,575	**1,096,905**
債券貸借取引受入担保金 (注) 8	ー	**11,387**
特定取引負債	224,275	**250,574**
借用金 (注) 8,12	1,756,053	**2,143,276**
外国為替	106	**70**
短期社債	1,218,096	**1,026,914**
社債 (注) 13	1,025,382	**1,025,150**
信託勘定借	1,336,449	**1,487,632**
その他負債	1,062,580	**1,038,385**
賞与引当金	12,406	**12,766**
役員賞与引当金	170	**120**
退職給付引当金	10,751	**ー**
退職給付に係る負債	ー	**10,724**
睡眠預金払戻損失引当金	4,757	**3,637**
偶発損失引当金	10,756	**8,864**
繰延税金負債	23,942	**68,788**
再評価に係る繰延税金負債 (注) 10	4,000	**3,712**
支払承諾 (注) 8	556,592	**504,944**
負債の部合計	37,081,612	**39,472,721**
（純資産の部）		
資本金	342,037	**342,037**
資本剰余金	601,259	**601,259**
利益剰余金	886,116	**971,657**
株主資本合計	1,829,412	**1,914,954**
その他有価証券評価差額金	249,454	**339,522**
繰延ヘッジ損益	△9,940	**△16,822**
土地再評価差額金 (注) 10	2,228	**650**
為替換算調整勘定	△123	**5,069**
退職給付に係る調整累計額	ー	**△44,127**
その他の包括利益累計額合計	241,619	**284,292**
少数株主持分	258,822	**189,627**
純資産の部合計	2,329,854	**2,388,874**
負債及び純資産の部合計	39,411,467	**41,861,595**

中間連結財務諸表

中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	平成25年度中間期 平成25年4月 1日から 平成25年9月30日まで	平成26年度中間期 平成26年4月 1日から 平成26年9月30日まで
経常収益	601,233	**569,150**
信託報酬	48,698	**49,418**
資金運用収益	177,957	**180,656**
（うち貸出金利息）	122,535	**128,987**
（うち有価証券利息配当金）	48,273	**41,536**
役務取引等収益	151,516	**151,349**
特定取引収益	12,055	**15,203**
その他業務収益	145,533	**134,882**
その他経常収益 (注)1	65,471	**37,639**
経常費用	483,025	**425,916**
資金調達費用	68,874	**62,554**
（うち預金利息）	36,761	**34,447**
役務取引等費用	42,695	**43,041**
特定取引費用	272	**134**
その他業務費用	116,044	**112,002**
営業経費 (注)2	191,460	**192,413**
その他経常費用 (注)3	63,678	**15,769**
経常利益	118,207	**143,233**
特別利益	291	**1,576**
固定資産処分益	291	**1,576**
特別損失	1,486	**48,525**
固定資産処分損	958	**808**
減損損失	528	**1,658**
その他の特別損失 (注)4	―	**46,058**
税金等調整前中間純利益	117,012	**96,284**
法人税、住民税及び事業税	11,537	**8,576**
法人税等調整額	30,763	**2,462**
法人税等合計	42,300	**11,039**
少数株主損益調整前中間純利益	74,711	**85,245**
少数株主利益	6,703	**3,936**
中間純利益	68,008	**81,309**

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	平成25年度中間期 平成25年4月 1日から 平成25年9月30日まで	平成26年度中間期 平成26年4月 1日から 平成26年9月30日まで
少数株主損益調整前中間純利益	74,711	**85,245**
その他の包括利益	74,885	**90,417**
その他有価証券評価差額金	65,618	**83,382**
繰延ヘッジ損益	1,910	**△3,512**
為替換算調整勘定	5,209	**85**
退職給付に係る調整額	―	**6,064**
持分法適用会社に対する持分相当額	2,147	**4,396**
中間包括利益	149,596	**175,662**
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	142,810	**171,521**
少数株主に係る中間包括利益	6,786	**4,141**

中間連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

	平成25年度中間期（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）			
	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	342,037	608,794	844,517	1,795,349
当中間期変動額				
剰余金の配当		△7,535	△27,045	△34,580
中間純利益			68,008	68,008
土地再評価差額金の取崩			635	635
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）				
当中間期変動額合計	―	△7,535	41,598	34,063
当中間期末残高	342,037	601,259	886,116	1,829,412

	平成25年度中間期（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）							
	その他の包括利益累計額							
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	少数株主持分	純資産合計
当期首残高	185,208	△14,063	2,864	△6,556	―	167,452	307,922	2,270,724
当中間期変動額								
剰余金の配当								△34,580
中間純利益								68,008
土地再評価差額金の取崩								635
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	64,245	4,123	△635	6,433	―	74,166	△49,099	25,067
当中間期変動額合計	64,245	4,123	△635	6,433	―	74,166	△49,099	59,130
当中間期末残高	249,454	△9,940	2,228	△123	―	241,619	258,822	2,329,854

（次頁へ続く）

中間連結財務諸表

中間連結株主資本等変動計算書

（前頁より続く）

（単位：百万円）

	平成26年度中間期（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）			
	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	342,037	601,259	950,835	1,894,132
会計方針の変更による累積的影響額			△30,887	△30,887
会計方針の変更を反映した当期首残高	342,037	601,259	919,948	1,863,244
当中間期変動額				
剰余金の配当			△30,571	△30,571
中間純利益			81,309	81,309
土地再評価差額金の取崩			971	971
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）				
当中間期変動額合計	―	―	51,709	51,709
当中間期末残高	342,037	601,259	971,657	1,914,954

	平成26年度中間期（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）							
	その他の包括利益累計額							
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	少数株主持分	純資産合計
当期首残高	249,510	△11,151	1,622	5,228	△50,156	195,052	189,304	2,278,489
会計方針の変更による累積的影響額								△30,887
会計方針の変更を反映した当期首残高	249,510	△11,151	1,622	5,228	△50,156	195,052	189,304	2,247,601
当中間期変動額								
剰余金の配当								△30,571
中間純利益								81,309
土地再評価差額金の取崩								971
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	90,012	△5,670	△971	△158	6,029	89,240	322	89,562
当中間期変動額合計	90,012	△5,670	△971	△158	6,029	89,240	322	141,272
当中間期末残高	339,522	△16,822	650	5,069	△44,127	284,292	189,627	2,388,874

中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	平成25年度中間期 平成25年4月 1日から 平成25年9月30日まで	平成26年度中間期 平成26年4月 1日から 平成26年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	117,012	**96,284**
減価償却費	14,595	**14,452**
減損損失	528	**1,658**
のれん償却額	4,537	**4,300**
持分法による投資損益（△は益）	△2,295	**△3,134**
貸倒引当金の増減（△）	△19,149	**△15,600**
賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,602	**△2,127**
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△17	**△135**
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△539	**－**
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	－	**16,473**
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	－	**△719**
睡眠預金払戻損失引当金の増減（△）	△1,450	**△280**
偶発損失引当金の増減（△）	1,036	**64**
資金運用収益	△177,957	**△180,656**
資金調達費用	68,874	**62,554**
有価証券関係損益（△）	△1,910	**△32,493**
金銭の信託の運用損益（△は運用益）	△849	**△634**
為替差損益（△は益）	△61,255	**△86,207**
固定資産処分損益（△は益）	666	**△768**
特定取引資産の純増（△）減	84,881	**989**
特定取引負債の純増減（△）	△8,857	**36,470**
貸出金の純増（△）減	△610,730	**△723,573**
預金の純増減（△）	670,926	**△98,633**
譲渡性預金の純増減（△）	683,373	**1,287,198**
借用金（劣後特約付借入金を除く）の純増減（△）	588,477	**267,528**
預け金（日銀預け金を除く）の純増（△）減	△758,311	**△123,905**
コールローン等の純増（△）減	39,236	**240,317**
債券貸借取引支払保証金の純増（△）減	△88,392	**△18,215**
コールマネー等の純増減（△）	553,750	**△94,557**
債券貸借取引受入担保金の純増減（△）	－	**11,387**
外国為替（資産）の純増（△）減	26,689	**1,128**
外国為替（負債）の純増減（△）	△0	**△54**
リース債権及びリース投資資産の純増（△）減	16,928	**6,446**
短期社債（負債）の純増減（△）	188,316	**122,032**
普通社債発行及び償還による増減（△）	132,203	**63,344**
信託勘定借の純増減（△）	55,411	**145,630**
資金運用による収入	171,582	**186,660**
資金調達による支出	△73,496	**△83,546**
その他	117,175	**△157,216**
小計	1,729,387	**942,462**
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△12,469	**△14,691**
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,716,917	**927,770**
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△2,918,467	**△3,216,503**
有価証券の売却による収入	1,788,902	**3,086,039**
有価証券の償還による収入	1,779,520	**941,474**
金銭の信託の減少による収入	5,650	**12,000**
有形固定資産の取得による支出	△6,103	**△6,267**
有形固定資産の売却による収入	1,216	**3,934**
無形固定資産の取得による支出	△22,442	**△13,754**
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,638	**－**
投資活動によるキャッシュ・フロー	626,638	**806,923**
財務活動によるキャッシュ・フロー		
劣後特約付借入れによる収入	－	**30,000**
劣後特約付借入金の返済による支出	－	**△60,000**
劣後特約付社債及び新株予約権付社債の償還による支出	△93,500	**△99,000**
少数株主への払戻による支出	△50,000	**－**
配当金の支払額	△34,580	**△30,571**
少数株主への配当金の支払額	△5,907	**△3,305**
財務活動によるキャッシュ・フロー	△183,988	**△162,876**
現金及び現金同等物に係る換算差額	27,639	**△8,608**
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,187,206	**1,563,209**
現金及び現金同等物の期首残高	1,853,984	**4,235,050**
現金及び現金同等物の中間期末残高 (注)1	4,041,190	**5,798,260**

中間連結財務諸表

注記事項（平成26年度中間期）

（中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項）

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社　68社

主要な会社名

三井住友トラスト・パナソニックファイナンス株式会社
日興アセットマネジメント株式会社
三井住友トラスト・ローン&ファイナンス株式会社
三井住友トラスト不動産株式会社
三井住友トラスト保証株式会社
Sumitomo Mitsui Trust Bank（U.S.A.）Limited

（連結の範囲の変更）

Sumitomo Mitsui Trust Bank（Thai）Public Company Limitedは新規設立により、当中間連結会計期間から連結の範囲に含めております。

また、Asian Islamic Investment Management Sdn. Bhd.は株式の売却による持分比率の低下に伴い関連会社となったため、当中間連結会計期間から連結の範囲から除外し持分法適用会社としております。

(2) 非連結子会社

主要な会社名

ハミングバード株式会社
アジアゲートウェイ1号投資事業有限責任組合

ハミングバード株式会社ほか34社は、匿名組合方式による賃貸事業を行う営業者等であり、その資産及び損益は実質的に当該子会社に帰属しないものであるため、「中間連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条第1項第2号により連結の範囲から除外しております。

また、アジアゲートウェイ1号投資事業有限責任組合ほか、その他の非連結子会社は、その資産、経常収益、中間純損益（持分に見合う額）、利益剰余金（持分に見合う額）及びその他の包括利益累計額（持分に見合う額）からみて、連結の範囲から除いても企業集団の財政状態及び経営成績に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいため、連結の範囲から除外しております。

2. 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法適用の非連結子会社

該当ありません。

(2) 持分法適用の関連会社　30社

主要な会社名

日本株主データサービス株式会社
住信SBIネット銀行株式会社

（持分法適用の範囲の変更）

Affin Fund Management Berhadは株式の取得により、当中間連結会計期間から持分法適用の範囲に含めております。

また、従来連結子会社でありましたAsian Islamic Investment Management Sdn. Bhd.は株式の売却による持分比率の低下に伴い関連会社となったため、当中間連結会計期間より持分法適用の範囲に含めております。

(3) 持分法非適用の非連結子会社及び関連会社

主要な会社名

ハミングバード株式会社
アジアゲートウェイ1号投資事業有限責任組合

ハミングバード株式会社ほか34社は、匿名組合方式による賃貸事業を行う営業者等であり、その資産及び損益は実質的に当該子会社に帰属しないものであるため、「中間連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第7条第1項第2号により持分法の対象から除いております。

また、アジアゲートウェイ1号投資事業有限責任組合ほか、その他の持分法非適用の非連結子会社及び関連会社は、中間純損益（持分に見合う額）、利益剰余金（持分に見合う額）及びその他の包括利益累計額（持分に見合う額）からみて、持分法の対象から除いても中間連結財務諸表に重要な影響を与えないため、持分法の対象から除いております。

3. 連結子会社の中間決算日等に関する事項

(1) 連結子会社の中間決算日は次のとおりであります。

10月末日	2社
12月末日	1社
2月末日	1社
3月末日	6社
5月末日	1社
6月末日	13社
7月末日	2社
9月末日	42社

(2) 10月末日を中間決算日とする子会社については、7月末日現在で実施した仮決算に基づく中間財務諸表により、12月末日を中間決算日とする子会社については、6月末日現在で実施した仮決算に基づく中間財務諸表により、2月末日を中間決算日とする子会社については、8月末日現在で実施した仮決算に基づく中間財務諸表により、3月末日を中間決算日とする子会社については、9月末日現在で実施した仮決算に基づく中間財務諸表により、5月末日を中間決算日とする子会社については、8月末日現在で実施した仮決算に基づく中間財務諸表により、6月末日を中間決算日とする子会社のうち1社については、9月末日現在で実施した仮決算に基づく中間財務諸表により、またその他の子会社については、それぞれの中間決算日の中間財務諸表により連結しております。

中間連結決算日と上記の中間決算日等との間に生じた重要な取引については、必要な調整を行っております。

4. 会計処理基準に関する事項

(1) 特定取引資産・負債の評価基準及び収益・費用の計上基準

金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る短期的な変動、市場間の格差等を利用して利益を得る等の目的（以下、「特定取引目的」）の取引については、取引の約定時点を基準とし、中間連結貸借対照表上「特定取引資産」及び「特定取引負債」に計上するとともに、当該取引からの損益を中間連結損益計算書上「特定取引収益」及び「特定取引費用」に計上しております。

特定取引資産及び特定取引負債の評価は、有価証券及び金銭債権等については中間連結決算日の時価により、スワップ・先物・オプション取引等の派生商品については中間連結決算日において決済したものとみなした額により行っております。

また、特定取引収益及び特定取引費用の損益計上は、当中間連結会計期間中の受払利息等に、有価証券、金銭債権等については前連結会計年度末と当中間連結会計期間末における評価損益の増減額を、派生商品については前連結会計年度末と当中間連結会計期間末におけるみなし決済からの損益相当額の増減額を加えております。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

(イ) 有価証券の評価は、満期保有目的の債券については移動平均法による償却原価法（定額法）、持分法非適用の非連結子会社株式及び持分法非適用の関連会社株式については移動平均法による原価法、その他有価証券のうち株式については中間連結決算期末月1カ月平均に基づいた

市場価格等に基づく時価法（売却原価は主として移動平均法により算定）、株式以外については原則として中間連結決算日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は主として移動平均法により算定）、ただし時価を把握することが極めて困難と認められるものについては移動平均法による原価法により行っております。

なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。

（ロ） 金銭の信託において信託財産を構成している有価証券の評価は、上記(1)及び(2)(イ)と同じ方法により行っております。

(3) デリバティブ取引の評価基準及び評価方法

デリバティブ取引（特定取引目的の取引を除く）の評価は、時価法により行っております。

(4) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産（リース資産を除く）

当社の有形固定資産は、定率法（ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物（建物附属設備を除く。）については定額法）を採用し、年間減価償却費見積額を期間により按分し計上しております。

また、主な耐用年数は次のとおりであります。

建　物　3年～60年

その他　2年～20年

連結子会社の有形固定資産については、資産の見積耐用年数に基づき、主として定額法により償却しております。

②無形固定資産（リース資産を除く）

無形固定資産は、定額法により償却しております。なお、自社利用のソフトウエアについては、当社及び連結子会社で定める利用可能期間（主として5年）に基づいて償却しております。

また、のれんの償却については、その個別案件毎に判断し、20年以内の合理的な年数で償却しております。ただし、重要性の乏しいものについては、発生年度に全額償却しております。

③リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る「有形固定資産」及び「無形固定資産」中のリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法により償却しております。

(5) 貸倒引当金の計上基準

当社の貸倒引当金は、予め定めている償却・引当基準に則り、次のとおり計上しております。

破産、特別清算等法的に経営破綻の事実が発生している債務者（以下、「破綻先」という。）に係る債権及びそれと同等の状況にある債務者（以下、「実質破綻先」という。）に係る債権については、以下のなお書きに記載されている直接減額後の帳簿価額から、担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額を計上しております。また、現在は経営破綻の状況にないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者（以下、「破綻懸念先」という。）に係る債権については、債権額から、担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち、債務者の支払能力を総合的に判断し必要と認める額を計上しております。

破綻懸念先及び貸出条件緩和債権等を有する債務者並びにその他今後の管理に注意を要する債務者のうち一定範囲に区分される信用リスクを有する債務者で、与信額が一定額以上の大口債務者に対する債権のうち、債権の元本の回収及び利息の受取りに係るキャッシュ・フローを合理的に見積ることができるものについては、当該キャッシュ・フローを貸出条件緩和実施前の約定利子率等で割引いた金額と債権の帳簿価額との差額を貸倒引当金とする方法（キャッシュ・フロー見積法）により計上しております。

上記以外の債権については、過去の一定期間における貸倒実績から算出した貸倒実績率等に基づき計上しております。

すべての債権は、資産の自己査定基準に基づき、営業店及び審査各部が資産査定を実施し、当該部署から独立したリスク統括部が査定結果を検証しております。

連結子会社の貸倒引当金は、一般債権については過去の貸倒実績率等を勘案して必要と認めた額を、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額をそれぞれ計上しております。

なお、破綻先及び実質破綻先に対する担保・保証付債権等については、債権額から担保の評価額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額を取立不能見込額として債権額から直接減額しており、その金額は22,403百万円であります。

(6) 賞与引当金の計上基準

賞与引当金は、従業員への賞与の支払いに備えるため、従業員に対する賞与の支給見込額のうち、当中間連結会計期間に帰属する額を計上しております。

(7) 役員賞与引当金の計上基準

役員賞与引当金は、役員への賞与の支払いに備えるため、役員に対する賞与の支給見込額のうち、当中間連結会計期間に帰属する額を計上しております。

(8) 睡眠預金払戻損失引当金の計上基準

睡眠預金払戻損失引当金は、一定の条件を満たし負債計上を中止した預金について、預金者からの払戻請求に備えるため、過去の払戻実績に基づく将来の払戻損失見込額を計上しております。

(9) 偶発損失引当金の計上基準

偶発損失引当金は、信託取引等に関して偶発的に発生する損失に備えるため、将来発生する可能性のある損失を見積り、必要と認められる額を計上しております。

(10) 退職給付に係る会計処理の方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当中間連結会計期間末までの期間に帰属させる方法については給付算定式基準によっております。また、過去勤務費用及び数理計算上の差異の損益処理方法は次のとおりであります。

過去勤務費用：その発生年度の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（主として10年）による定額法により損益処理

数理計算上の差異：各連結会計年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（主として8～10年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌連結会計年度から損益処理

なお、一部の連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る当中間連結会計期間末の自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(11) 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

当社の外貨建資産・負債及び海外支店勘定は、取得時の為替相場による円換算額を付す関連会社株式を除き、主として中間連結決算日の為替相場による円換算額を付しております。

連結子会社の外貨建資産・負債については、それぞれの中間決算日等の為替相場により換算しております。

(12) リース取引の処理方法

国内連結子会社の所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る収益・費用の計上基準は、リース料受取時に売上高と売上原価を計上する方法によっております。

中間連結財務諸表

(13) 重要なヘッジ会計の方法

(イ)金利リスク・ヘッジ

当社の金融資産・負債から生じる金利リスクに対するヘッジ会計の方法は、主として「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号。以下、「業種別監査委員会報告第24号」という。）に規定する繰延ヘッジによっております。ヘッジ有効性評価の方法については、相場変動を相殺するヘッジについて、ヘッジ対象となる預金・貸出金等とヘッジ手段である金利スワップ取引等を一定の残存期間毎にグルーピングのうえ特定し評価しております。また、キャッシュ・フローを固定するヘッジについては、ヘッジ対象とヘッジ手段の金利変動要素の相関関係の検証により有効性の評価をしております。

また、当中間連結会計期間末の中間連結貸借対照表に計上している繰延ヘッジ損益のうち、「銀行業における金融商品会計基準適用に関する当面の会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第15号）を適用して実施しておりました多数の貸出金・預金等から生じる金利リスクをデリバティブ取引を用いて総体で管理する従来の「マクロヘッジ」に基づく繰延ヘッジ損益は、「マクロヘッジ」で指定したそれぞれのヘッジ手段の残存期間に応じ期間配分しております。

なお、当中間連結会計期間末における「マクロヘッジ」に基づく繰延ヘッジ損失は400百万円（税効果額控除前）であります。

(ロ)為替変動リスク・ヘッジ

当社の外貨建金融資産・負債から生じる為替変動リスクに対するヘッジ会計の方法は、「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第25号。以下、「業種別監査委員会報告第25号」という。）に規定する繰延ヘッジによっております。

ヘッジ有効性評価の方法については、外貨建金銭債権債務等の為替変動リスクを減殺する目的で行う通貨スワップ取引及び為替スワップ取引等をヘッジ手段とし、ヘッジ対象である外貨建金銭債権債務等に見合うヘッジ手段の外貨ポジション相当額が存在することを確認することによりヘッジの有効性を評価しております。

また、外貨建有価証券（債券以外）の為替変動リスクをヘッジするため、事前にヘッジ対象となる外貨建有価証券の銘柄を特定し、当該外貨建有価証券について外貨ベースで取得原価以上の直先負債が存在していること等を条件に包括ヘッジとして時価ヘッジを適用しております。

(ハ)株価変動リスク・ヘッジ

当社のその他有価証券のうち一部の株式から生じる株価変動リスクに対するヘッジ会計の方法は、時価ヘッジによっており、当該個別ヘッジに係るヘッジ対象とヘッジ手段の時価変動額を比較する比率分析により有効性の評価をしております。

(ニ)連結会社間取引等

当社のデリバティブ取引のうち連結会社間及び特定取引勘定とそれ以外の勘定との間の内部取引については、ヘッジ手段として指定している金利スワップ取引及び通貨スワップ取引等に対して、業種別監査委員会報告第24号及び同第25号に基づき、恣意性を排除し厳格なヘッジ運営が可能と認められる対外カバー取引の基準に準拠した運営を行っているため、当該金利スワップ取引及び通貨スワップ取引等から生じる収益及び費用は消去せずに損益認識又は繰延処理を行っております。

なお、一部の資産・負債については、個別取引毎の繰延ヘッジ又は時価ヘッジを行っております。

連結子会社のヘッジ会計の方法は、個別取引毎の繰延ヘッジ又は金利スワップの特例処理によっております。

(14) 中間連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

中間連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲は、当社については中間連結貸借対照表上の「現金預け金」のうち現金及び日本銀行への預け金であります。連結子会社については中間連結貸借対照表上の「現金預け金」であります。

(15) 消費税等の会計処理

当社及び国内連結子会社の消費税及び地方消費税（以下、「消費税等」という。）の会計処理は、税抜方式によっております。ただし、資産の取得に係る控除対象外消費税等は当中間連結会計期間の費用に計上しております。

（会計方針の変更）

（「退職給付に関する会計基準」等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下、「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下、「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当中間連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を当社についてはポイント基準から、一部の連結子会社については期間定額基準から給付算定式基準へそれぞれ変更しております。また、割引率の決定方法を主として支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当中間連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当中間連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が46,709百万円減少、退職給付に係る負債が1,282百万円増加し、利益剰余金が30,887百万円減少しております。なお、当中間連結会計期間の経常利益及び税金等調整前中間純利益に及ぼす影響は軽微であります。また、1株当たり情報に与える影響は当該箇所に記載しております。

（中間連結貸借対照表関係）

1. 非連結子会社及び関連会社の株式又は出資金の総額

株　式	49,125百万円
出資金	53,485百万円

2. 無担保の消費貸借契約により借り入れている有価証券及び現先取引並びに現金担保付債券貸借取引等により受け入れている有価証券のうち、売却又は（再）担保という方法で自由に処分できる権利を有する有価証券は次のとおりであります。

再貸付けに供している有価証券	777,220百万円
当中間連結会計期間末に当該処分をせずに所有している有価証券	—百万円

3. 貸出金のうち破綻先債権額及び延滞債権額は次のとおりであります。

破綻先債権額	3,096百万円
延滞債権額	110,221百万円

なお、破綻先債権とは、元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金（貸倒償却を行った部分を除く。以下、「未収利息不計上貸出金」という。）のうち、法人税法施行令（昭和40年政令第97号）第96条第1項第3号のイからホまでに掲げる事由又は同

項第4号に規定する事由が生じている貸出金であります。

また、延滞債権とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予した貸出金以外の貸出金であります。

4. 貸出金のうち、3カ月以上延滞債権はありません。

なお、3カ月以上延滞債権とは、元本又は利息の支払が、約定支払日の翌日から3カ月以上遅延している貸出金で破綻先債権及び延滞債権に該当しないものであります。

5. 貸出金のうち貸出条件緩和債権額は次のとおりであります。

貸出条件緩和債権額	118,782百万円

なお、貸出条件緩和債権とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で破綻先債権、延滞債権及び3カ月以上延滞債権に該当しないものであります。

6. 破綻先債権額、延滞債権額、3カ月以上延滞債権額及び貸出条件緩和債権額の合計額は次のとおりであります。

合計額	232,101百万円

なお、上記3.から6.に掲げた債権額は、貸倒引当金控除前の金額であります。

7. 手形割引は、「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号）に基づき金融取引として処理しております。これにより受け入れた商業手形は、売却又は（再）担保という方法で自由に処分できる権利を有しておりますが、その額面金額は次のとおりであります。

3,202百万円

8. 担保に供している資産は次のとおりであります。

担保に供している資産

特定取引資産	107,872百万円
有価証券	1,220,802百万円
貸出金	1,281,872百万円
リース債権及びリース投資資産	12,177百万円
その他資産	29,208百万円
計	2,651,934百万円

担保資産に対応する債務

預金	44,615百万円
売現先勘定	806,924百万円
債券貸借取引受入担保金	11,387百万円
借用金	982,450百万円
支払承諾	20,689百万円

上記のほか、為替決済等の取引の担保あるいは先物取引証拠金等の代用として、次のものを差し入れております。

有価証券	520,745百万円

また、その他資産には、先物取引差入証拠金、保証金及び金融商品等差入担保金が含まれておりますが、その金額は次のとおりであります。

先物取引差入証拠金	5,673百万円
保証金	20,204百万円
金融商品等差入担保金	505,801百万円

9. 当座貸越契約及び貸付金に係るコミットメントライン契約は、顧客からの融資実行の申し出を受けた場合に、契約上規定された条件について違反がない限り、一定の限度額まで資金を貸付けることを約する契約であります。これらの契約に係る融資未実行残高は次のとおりであります。

融資未実行残高	10,780,639百万円
うち原契約期間が1年以内のもの（又は任意の時期に無条件で取消可能なもの）	7,771,220百万円

なお、これらの契約の多くは、融資実行されずに終了するものであるため、融資未実行残高そのものが必ずしも当社及び連結子会社の将来のキャッシュ・フローに影響を与えるものではありません。これらの契約の多くには、金融情勢の変化、債権の保全及びその他相当の事由があるときは、当社及び連結子会社が実行申し込みを受けた融資の拒絶又は契約極度額の減額をすることができる旨の条項が付けられております。また、契約時において必要に応じて不動産・有価証券等の担保を徴求するほか、契約後も定期的に予め定めている社内手続に基づき顧客の業況等を把握し、必要に応じて契約の見直し、与信保全上の措置等を講じております。

10. 土地の再評価に関する法律（平成10年3月31日公布法律第34号）に基づき、当社の事業用の土地の再評価を行い、評価差額については、当該評価差額に係る税金相当額を「再評価に係る繰延税金負債」として負債の部に計上し、これを控除した金額を「土地再評価差額金」として純資産の部に計上しております。

再評価を行った年月日

平成10年3月31日及び平成11年3月31日

同法律第3条第3項に定める再評価の方法

土地の再評価に関する法律施行令（平成10年3月31日公布政令第119号）第2条第1号に定める標準地の公示価格、同条第2号に定める基準地の標準価格、同条第3号に定める当該事業用の土地の課税台帳に登録されている価格及び同条第4号に定める路線価に基づいて、合理的な調整を行って算出。

11. 有形固定資産の減価償却累計額

減価償却累計額	197,316百万円

12. 借用金には、他の債務よりも債務の履行が後順位である旨の特約が付された劣後特約付借入金が含まれております。

劣後特約付借入金	165,000百万円

13. 社債には、劣後特約付社債が含まれております。

劣後特約付社債	616,694百万円

14. 有価証券中の社債のうち、有価証券の私募（金融商品取引法第2条第3項）による社債に対する保証債務の額

154,410百万円

15. 当社の受託する元本補てん契約のある信託の元本金額は、次のとおりであります。

金銭信託	1,450,973百万円
貸付信託	14,761百万円

（中間連結損益計算書関係）

1. その他経常収益には、次のものを含んでおります。

株式等売却益	12,262百万円
貸倒引当金戻入益	14,054百万円

2. 営業経費には、次のものを含んでおります。

給料・手当	77,072百万円

3. その他経常費用には、次のものを含んでおります。

株式等売却損	364百万円
統合関連費用	3,753百万円
組合等出資金損失	1,638百万円

4. 当中間連結会計期間のその他の特別損失は、システム統合費用であります。

当グループは、平成24年4月1日に実施した住友信託銀行株式会社、中央三井信託銀行株式会社及び中央三井アセット信託銀行株式会社の合併以降併存状態にあった勘定系システムについて、当連結会計年度において段階的に完全統合を進めております。本システムの完全統合に伴う、旧行間のシステムデータ統合に関連して発生した費用については、システム統合費用として、個別のシステム移行完了時に費用処理しております。

中間連結財務諸表

（中間連結株主資本等変動計算書関係）

1.　発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項　（単位：千株）

	当連結会計年度期首株式数	当中間連結会計期間増加株式数	当中間連結会計期間減少株式数	当中間連結会計期間末株式数	摘要
発行済株式					
普通株式	1,674,537	—	—	1,674,537	
第1回第二種優先株式	109,000	—	—	109,000	
合計	1,783,537	—	—	1,783,537	

2.　新株予約権に関する事項

区分	新株予約権の内訳	当中間連結会計期間末残高（百万円）
連結子会社（日興アセットマネジメント株式会社）	ストック・オプションとしての新株予約権 自社株式オプションとしての新株予約権	—

3.　配当に関する事項

(1) 当中間連結会計期間中の配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額（百万円）	1株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日
平成26年6月27日定時株主総会	普通株式	28,266	16.88	平成26年3月31日	平成26年6月30日
	第1回第二種優先株式	2,305	21.15	平成26年3月31日	平成26年6月30日

(2) 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

（決議）	株式の種類	配当金の総額（百万円）	配当の原資	1株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日
平成26年7月31日取締役会	第1回第二種優先株式	2,305	利益剰余金	21.15	平成26年9月30日	平成26年10月1日
平成26年11月13日取締役会	普通株式	22,622	利益剰余金	13.51	平成26年9月30日	平成26年12月1日

（中間連結キャッシュ・フロー計算書関係）

1.　現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金預け金勘定	7,438,437百万円
当社の預け金（日銀預け金を除く）	△1,640,177百万円
現金及び現金同等物	5,798,260百万円

（リース取引関係）

1.　ファイナンス・リース取引

（借手側）

(1) 所有権移転外ファイナンス・リース取引

①　リース資産の内容

（ア）有形固定資産

主として、店舗及び事務機械であります。

（イ）無形固定資産

ソフトウエアであります。

②　リース資産の減価償却の方法

中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項「4. 会計処理基準に関する事項」の「(4) 固定資産の減価償却の方法」に記載のとおりであります。

(2) 通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引

該当ありません。

2.　オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

（借手側）

1年内	4,424百万円
1年超	12,156百万円
合計	16,580百万円

（貸手側）

1年内	3,563百万円
1年超	2,857百万円
合計	6,421百万円

（1株当たり情報）

1.　1株当たり純資産額及び算定上の基礎

	当中間連結会計期間（平成26年9月30日）
1株当たり純資産額	**1,246.87円**
（算定上の基礎）	
純資産の部の合計額	**2,388,874百万円**
純資産の部の合計額から控除する金額	**300,932百万円**
うち優先株式の発行金額	**109,000百万円**
うち中間優先配当額	**2,305百万円**
うち少数株主持分	**189,627百万円**
普通株式に係る中間期末の純資産額	**2,087,941百万円**
1株当たり純資産額の算定に用いられた中間期末の普通株式の数	**1,674,537千株**

2.　1株当たり中間純利益金額及び算定上の基礎

	当中間連結会計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
1株当たり中間純利益金額	**47.17円**
(算定上の基礎)	
中間純利益	**81,309百万円**
普通株主に帰属しない金額	**2,305百万円**
うち中間優先配当額	**2,305百万円**
普通株式に係る中間純利益	**79,003百万円**
普通株式の期中平均株式数	**1,674,537千株**

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要は次のとおりであります。
連結子会社（日興アセットマネジメント株式会社）
(1) 新株予約権（ストック・オプション）同社普通株式
24,839,100株
(2) 新株予約権（自社株式オプション）同社普通株式
2,955,200株

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下、「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下、「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて、当中間連結会計期間より適用し、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従っております。

この結果、当中間連結会計期間の期首の1株当たり純資産額が、18円44銭減少しております。なお、1株当たり中間純利益金額に与える影響は軽微であります。

(重要な後発事象)

(第1回第二種優先株式の取得及び消却)

当社は平成26年7月31日開催の取締役会において、当社発行の第1回第二種優先株式の全部につき、下記のとおり、当社定款第16条第2項の規定に基づく取得、ならびに当該取得を条件として会社法第178条の規定に基づく消却を行うことを決議いたしました。

上記決議に基づき、当社は平成26年10月1日付けで第1回第二種優先株式の全部を取得し、これをすべて消却いたしました。

取得の方法	第1回第二種優先株式の取得条項に基づく取得
取得・消却した株式の種類	第1回第二種優先株式
取得・消却した株式の総数	109,000,000株
取得価額・取得価額の総額	109,006,540,000円 (1株につき1,000円6銭(注))
取得日	平成26年10月1日
消却の方法	その他資本剰余金からの減額

(注) 第1回第二種優先株式1株当たりの払込金額相当額1,000円に、経過配当額6銭（平成26年4月1日（同日を含む。）から平成26年9月30日（同日を含む。）までの日数183日を365で除した数に、優先配当金の額42円30銭を乗じて得られる額21円21銭（円位未満小数第3位まで算出し、その小数第3位を四捨五入する。）から、取得日に支払われる中間配当金（21円15銭）を控除した額）を加算した金額となります。

監査法人の監査証明について

当社の中間連結財務諸表、すなわち、中間連結貸借対照表、中間連結損益計算書、中間連結包括利益計算書、中間連結株主資本等変動計算書、中間連結キャッシュ・フロー計算書、中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項及びその他の注記については、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、有限責任 あずさ監査法人の監査証明を受けております。前掲の中間連結貸借対照表、中間連結損益計算書、中間連結包括利益計算書、中間連結株主資本等変動計算書、中間連結キャッシュ・フロー計算書及び注記事項は、上記の中間連結財務諸表に基づいて作成しております。

金融商品関係

金融商品の時価等に関する事項

中間連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額は、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められる非上場株式等は、次表には含めておりません（(注2) 参照）。

（単位：百万円）

	平成25年9月末		
	中間連結貸借対照表計上額	時　価	差　額
(1) 現金預け金（＊1）	6,092,125	6,092,125	―
(2) コールローン及び買入手形	368,205	368,205	―
(3) 買現先勘定	84,850	84,850	―
(4) 債券貸借取引支払保証金	295,887	295,887	―
(5) 買入金銭債権（＊1）	633,645	634,565	920
(6) 特定取引資産			
売買目的有価証券	239,532	239,532	―
(7) 金銭の信託	1,293	1,293	―
(8) 有価証券			
満期保有目的の債券	433,797	475,211	41,414
その他有価証券	4,881,354	4,881,354	―
(9) 貸出金	22,702,147		
貸倒引当金（＊2）	△ 85,681		
	22,616,466	22,800,468	184,002
(10) 外国為替	32,881	32,881	―
(11) リース債権及びリース投資資産（＊1）	532,628	536,198	3,570
資産計	36,212,665	36,442,573	229,908
(1) 預金	23,693,551	23,736,622	43,071
(2) 譲渡性預金	4,813,891	4,813,891	―
(3) コールマネー及び売渡手形	182,272	182,272	―
(4) 売現先勘定	1,145,575	1,145,575	―
(5) 借用金	1,756,053	1,768,767	12,713
(6) 外国為替	106	106	―
(7) 短期社債	1,218,096	1,218,096	―
(8) 社債	1,025,382	1,058,897	33,514
(9) 信託勘定借	1,336,449	1,336,449	―
負債計	35,171,379	35,260,678	89,298
デリバティブ取引（＊3）			
ヘッジ会計が適用されていないもの	132,779	132,779	―
ヘッジ会計が適用されているもの	(239,908)	(239,908)	―
デリバティブ取引計	(107,128)	(107,128)	―

（＊1） 現金預け金、買入金銭債権、リース債権及びリース投資資産に対応する貸倒引当金については、重要性が乏しいため、中間連結貸借対照表計上額から直接減額しております。
（＊2） 貸出金に対応する一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金を控除しております。
（＊3） 特定取引資産・負債及びその他資産・負債に計上しているデリバティブ取引を一括して表示しております。
デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、（　）で表示しております。

（単位：百万円）

	平成26年9月末		
	中間連結貸借対照表計上額	時　価	差　額
(1) 現金預け金（＊1）	7,438,333	7,438,333	―
(2) コールローン及び買入手形	411,849	411,849	―
(3) 買現先勘定	109,593	109,593	―
(4) 債券貸借取引支払保証金	307,593	307,593	―
(5) 買入金銭債権（＊1）	592,911	593,553	641
(6) 特定取引資産			
売買目的有価証券	166,044	166,044	―
(7) 金銭の信託	1,432	1,432	―
(8) 有価証券			
満期保有目的の債券	384,642	425,779	41,136
その他有価証券	4,491,436	4,491,436	―
(9) 貸出金	24,412,632		
貸倒引当金（＊2）	△83,485		
	24,329,146	24,579,926	250,779
(10) 外国為替	10,985	10,985	―
(11) リース債権及びリース投資資産（＊1）	531,030	538,841	7,811
資産計	38,774,999	39,075,369	300,369
(1) 預金	23,988,302	24,012,111	23,809
(2) 譲渡性預金	6,490,378	6,490,378	―
(3) コールマネー及び売渡手形	300,184	300,184	―
(4) 売現先勘定	1,096,905	1,096,905	―
(5) 債券貸借取引受入担保金	11,387	11,387	―
(6) 借用金	2,143,276	2,152,998	9,722
(7) 外国為替	70	70	―
(8) 短期社債	1,026,914	1,026,914	―
(9) 社債	1,025,150	1,059,864	34,713
(10) 信託勘定借	1,487,632	1,487,632	―
負債計	37,570,203	37,638,447	68,244
デリバティブ取引（＊3）			
ヘッジ会計が適用されていないもの	152,305	152,305	―
ヘッジ会計が適用されているもの	(236,708)	(236,708)	―
デリバティブ取引計	(84,402)	(84,402)	―

（＊1）現金預け金、買入金銭債権、リース債権及びリース投資資産に対応する貸倒引当金については、重要性が乏しいため、中間連結貸借対照表計上額から直接減額しております。
（＊2）貸出金に対応する一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金を控除しております。
（＊3）特定取引資産・負債及びその他資産・負債に計上しているデリバティブ取引を一括して表示しております。
　　デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、（　）で表示しております。

（注1）金融商品の時価の算定方法

資　産

(1) 現金預け金、(2) コールローン及び買入手形、(3) 買現先勘定、(4) 債券貸借取引支払保証金、及び (10) 外国為替

これらの取引のうち、期限のない取引については、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。また、期限のある取引については、約定期間が短期間（1年以内）であるものが大宗を占めており、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(5) 買入金銭債権

買入金銭債権のうち、取引金融機関又はブローカーから提示された価格のあるものについては、当該価格を時価としております。上記以外のものについては、原則として、内部格付、期間に基づく区分ごとに、将来のキャッシュ・フローを割り引いて現在価値を算定し、当該価格を時価としております。

(6) 特定取引資産

特定取引目的で保有している債券等の有価証券については、業界団体の公表する価格又は取引金融機関から提示された価格を時価としております。短期社債は、将来のキャッシュ・フローを割り引いて現在価値を算定し、当該価格を時価としております。

(7) 金銭の信託

有価証券運用を主目的とする単独運用の金銭の信託において信託財産として運用されている有価証券については、取引所の価格又はブローカーから提示された価格を時価としております。なお、保有目的ごとの金銭の信託に関する注記事項については、「金銭の信託関係」に記載しております。

(8) 有価証券

株式については取引所の価格、債券は取引所の価格、業界団体の公表する価格又は取引金融機関、ブローカーから提示された価格を時価としております。投資信託については、公表されている基準価格を時価としております。

自行保証付私募債等については、内部格付、期間に基づく区分ごとに、将来のキャッシュ・フローを割り引いて現在価値を算定し、当該

金融商品関係

価格を時価としております。

なお、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項は「有価証券関係」に記載しております。

(9) 貸出金

貸出金については、貸出条件、内部格付及び期間等に基づく区分ごとに、元利金の合計額を同様の新規貸出を行った場合に想定される利率で割り引いて時価を算定しておりますが、貸出金の特性や、実行後の貸出先の信用状態から時価が帳簿価額と近似していると認められる変動金利貸出については、当該帳簿価額を時価としております。

また、破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に対する債権等については、見積将来キャッシュ・フローの現在価値又は担保及び保証による回収見込額等に基づいて貸倒見積高を算定しているため、時価は中間連結決算日における中間連結貸借対照表上の債権等計上額から貸倒引当金計上額を控除した金額に近似しており、当該価額を時価としております。

貸出金のうち、当該貸出を担保資産の範囲内に限る等の特性により、返済期限を設けていないものについては、返済見込み期間及び金利条件等から、時価は帳簿価額と近似しているものと想定されるため、当該帳簿価額を時価としております。

(11) リース債権及びリース投資資産

リース債権及びリース投資資産については、内部格付、期間に基づく区分ごとに、元利金の合計額を同様の新規契約を行った場合に想定される利率で割り引いて時価を算定しております。

負　債

(1) 預金、及び（2）譲渡性預金

要求払預金については、中間連結決算日に要求された場合の支払額（帳簿価額）を時価とみなしております。

固定金利定期預金については、商品ごとに区分し、将来のキャッシュ・フローを割り引いて現在価値を算定し、当該価格を時価としております。その割引率は、新規に預金を受け入れる際に使用する利率を用いております。なお、原則として、預入期間が短期間（1年以内）のもの及び変動金利によるものについては、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(3) コールマネー及び売渡手形、(4) 売現先勘定、(5) 債券貸借取引受入担保金、(7) 外国為替、(8) 短期社債、及び（10）信託勘定借

これらの取引のうち、期限のない取引については、中間連結決算日に要求された場合の支払額（帳簿価額）を時価とみなしております。また、期限のある取引については、約定期間が短期間（1年以内）であり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(6) 借用金

借用金のうち、変動金利によるものについては、短期間で市場金利を反映し、また、信用状態は実行後大きく異なっていないことから、時価は帳簿価額と近似しているとみなし、当該帳簿価額を時価としております。

固定金利によるものについては、将来のキャッシュ・フローを同様の借り入れにおいて想定される利率で割り引いて現在価値を算定し、当該価格を時価としております。残存期間が短期間（1年以内）のものは、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(9) 社債

当社及び連結子会社の発行する社債のうち、市場価格のあるものについては、当該価格を時価としております。上記以外のものについては、将来キャッシュ・フローを同様の社債を発行した場合に想定される利率で割り引いて現在価値を算定し、当該価格を時価としております。

デリバティブ取引

デリバティブ取引については、「デリバティブ取引関係」に記載しております。

（注2）時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品の中間連結貸借対照表計上額は次のとおりであり、金融商品の時価情報の「資産（8）その他有価証券」には含まれておりません。

（単位：百万円）

区分	平成25年9月末	平成26年9月末
有価証券	154,814	**155,394**
①　非上場株式（＊3）	104,076	**95,500**
②　組合等出資金	48,129	**56,761**
③　その他（＊3）	2,608	**3,133**
合計	154,814	**155,394**

（＊1）上記金融商品については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから時価開示の対象とはしておりません。
（＊2）子会社株式及び関連会社株式等は、上記に含めておりません。
（＊3）平成25年9月末において、非上場株式について1,263百万円、その他について0百万円減損処理を行っております。
平成26年9月末において、非上場株式について171百万円、その他について0百万円減損処理を行っております。

有価証券関係

※1.中間連結貸借対照表の「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、及び「買入金銭債権」中の貸付債権信託受益権等を含めて記載しております。
※2.「子会社株式及び関連会社株式」については、中間財務諸表における注意事項として記載しております。

(1) 満期保有目的の債券

(単位：百万円)

種類		平成25年9月末		
		中間連結貸借対照表計上額	時価	差額
時価が中間連結貸借対照表計上額を超えるもの	国債	255,628	264,937	9,308
	地方債	―	―	―
	短期社債	―	―	―
	社債	4,747	4,793	46
	その他	188,878	221,662	32,784
	外国債券	154,976	187,094	32,117
	その他	33,901	34,568	666
	小計	449,253	491,393	42,139
時価が中間連結貸借対照表計上額を超えないもの	国債	70	69	△0
	地方債	―	―	―
	短期社債	―	―	―
	社債	―	―	―
	その他	19,474	19,416	△57
	外国債券	18,374	18,316	△57
	その他	1,100	1,100	―
	小計	19,544	19,486	△57
合計		468,798	510,879	42,081

(単位：百万円)

種類		平成26年9月末		
		中間連結貸借対照表計上額	時価	差額
時価が中間連結貸借対照表計上額を超えるもの	国債	**235,179**	**248,151**	**12,972**
	地方債	**―**	**―**	**―**
	短期社債	**―**	**―**	**―**
	社債	**3,086**	**3,119**	**32**
	その他	**167,111**	**195,806**	**28,694**
	外国債券	**140,722**	**168,870**	**28,147**
	その他	**26,388**	**26,935**	**547**
	小計	**405,377**	**447,077**	**41,699**
時価が中間連結貸借対照表計上額を超えないもの	国債	**140**	**140**	**△0**
	地方債	**―**	**―**	**―**
	短期社債	**―**	**―**	**―**
	社債	**―**	**―**	**―**
	その他	**5,513**	**5,497**	**△16**
	外国債券	**5,513**	**5,497**	**△16**
	その他	**―**	**―**	**―**
	小計	**5,654**	**5,637**	**△16**
合計		**411,031**	**452,715**	**41,683**

有価証券関係

(2) その他有価証券

(単位:百万円)

種類		平成25年9月末		
		中間連結貸借対照表計上額	取得原価	差額
中間連結貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	980,054	550,205	429,848
	債券	1,302,575	1,296,045	6,529
	国債	912,388	910,199	2,189
	地方債	10,539	10,298	241
	短期社債	—	—	—
	社債	379,646	375,547	4,099
	その他	709,727	686,359	23,367
	外国株式	2,257	1,358	899
	外国債券	559,356	550,778	8,577
	その他	148,112	134,222	13,890
	小計	2,992,356	2,532,610	459,745
中間連結貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	143,338	170,154	△26,815
	債券	866,056	867,647	△1,590
	国債	643,143	643,738	△595
	地方債	1,436	1,442	△6
	短期社債	—	—	—
	社債	221,476	222,466	△989
	その他	948,966	967,879	△18,912
	外国株式	—	—	—
	外国債券	800,466	807,197	△6,731
	その他	148,500	160,681	△12,181
	小計	1,958,361	2,005,680	△47,318
合計		4,950,718	4,538,291	412,427

(単位:百万円)

種類		平成26年9月末		
		中間連結貸借対照表計上額	取得原価	差額
中間連結貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	**1,123,589**	**554,053**	**569,536**
	債券	**904,103**	**898,731**	**5,372**
	国債	**448,163**	**446,957**	**1,206**
	地方債	**10,360**	**10,100**	**260**
	短期社債	**—**	**—**	**—**
	社債	**445,578**	**441,673**	**3,905**
	その他	**821,467**	**801,534**	**19,933**
	外国株式	**2,783**	**1,518**	**1,264**
	外国債券	**718,342**	**707,050**	**11,291**
	その他	**100,342**	**92,964**	**7,377**
	小計	**2,849,160**	**2,254,318**	**594,841**
中間連結貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	**112,311**	**138,537**	**△26,226**
	債券	**472,971**	**473,653**	**△682**
	国債	**349,990**	**349,992**	**△2**
	地方債	**2,610**	**2,619**	**△9**
	短期社債	**—**	**—**	**—**
	社債	**120,371**	**121,041**	**△670**
	その他	**1,107,752**	**1,133,986**	**△26,234**
	外国株式	**—**	**—**	**—**
	外国債券	**906,218**	**910,823**	**△4,605**
	その他	**201,534**	**223,163**	**△21,629**
	小計	**1,693,035**	**1,746,178**	**△53,143**
合計		**4,542,195**	**4,000,496**	**541,698**

(3) 減損処理を行った有価証券

売買目的有価証券以外の有価証券（時価を把握することが極めて困難なものを除く。）のうち、当該有価証券の時価が取得原価に比べて著しく下落しており、時価が取得原価まで回復する見込みがあると認められないものについては、当該時価をもって中間連結貸借対照表計上額とするとともに、評価差額を当中間連結会計期間の損失として処理（以下、「減損処理」という。）しております。

前中間連結会計期間における減損処理額は、株式28百万円であります。

当中間連結会計期間における減損処理額は、株式69百万円であります。

また、時価が「著しく下落した」と判断するための基準は、資産の自己査定において、有価証券の発行会社の区分が正常先に該当するものについては、時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合とし、今後の管理に注意を要する要注意先以下に該当するものについては、時価が取得原価に比べ30%以上下落した場合であります。なお、一部の有価証券については、上記に加え、時価が取得原価に比べて30%以上50%未満下落し、かつ一定期間下落が継続している場合には、時価に回復可能性がないものとして減損処理を行っております。

金銭の信託関係

(1) 満期保有目的の金銭の信託

平成25年度中間期

該当ありません。

平成26年度中間期

該当ありません。

(2) その他の金銭の信託（運用目的及び満期保有目的以外）

（単位：百万円）

	平成25年9月末				
	中間連結貸借対照表計上額	取得原価	差額	うち中間連結貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	うち中間連結貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの
その他の金銭の信託	13,293	12,858	435	435	ー

（注）「うち中間連結貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの」「うち中間連結貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの」はそれぞれ「差額」の内訳であります。

（単位：百万円）

	平成26年9月末				
	中間連結貸借対照表計上額	取得原価	差額	うち中間連結貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	うち中間連結貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの
その他の金銭の信託	**1,432**	**861**	**571**	**571**	**ー**

（注）「うち中間連結貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの」「うち中間連結貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの」はそれぞれ「差額」の内訳であります。

その他有価証券評価差額金

平成25年度中間期

中間連結貸借対照表に計上されているその他有価証券評価差額金の内訳は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

	平成25年9月末
評価差額	377,455
その他有価証券	377,020
その他の金銭の信託	435
（△）繰延税金負債	126,734
その他有価証券評価差額金（持分相当額調整前）	250,721
（△）少数株主持分相当額	877
（＋）持分法適用会社が所有するその他有価証券に係る評価差額金のうち親会社持分相当額	△389
その他有価証券評価差額金	249,454

（注）1. 時価を把握することが極めて困難と認められるその他有価証券に係る為替換算差額については、「評価差額」の内訳「その他有価証券」に含めて記載しております。
2. 組合等の構成資産であるその他有価証券に係る評価差額0百万円については、「評価差額」の内訳「その他有価証券」に含めて記載しております。
3. 保有目的を変更した有価証券に関して変更時に生じた評価差額の当中間連結会計期間末における未償却残高については、「評価差額」の内訳「その他有価証券」に含めて記載しております。

平成26年度中間期

中間連結貸借対照表に計上されているその他有価証券評価差額金の内訳は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

	平成26年9月末
評価差額	**514,378**
その他有価証券	**513,807**
その他の金銭の信託	**571**
（△）繰延税金負債	**180,844**
その他有価証券評価差額金（持分相当額調整前）	**333,534**
（△）少数株主持分相当額	**162**
（＋）持分法適用会社が所有するその他有価証券に係る評価差額金のうち親会社持分相当額	**6,150**
その他有価証券評価差額金	**339,522**

（注）1. 時価を把握することが極めて困難と認められるその他有価証券に係る為替換算差額については、「評価差額」の内訳「その他有価証券」に含めて記載しております。
2. 組合等の構成資産であるその他有価証券に係る評価差額29百万円については、「評価差額」の内訳「その他有価証券」に含めて記載しております。
3. 保有目的を変更した有価証券に関して変更時に生じた評価差額の当中間連結会計期間末における未償却残高については、「評価差額」の内訳「その他有価証券」に含めて記載しております。

デリバティブ取引関係

1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごとの中間連結決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額、時価及び評価損益並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。なお、契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

(1) 金利関連取引

(単位：百万円)

区分	種類	平成25年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	金利先物				
	売建	16,304,162	8,881,712	△5,654	△5,654
	買建	16,554,820	8,470,610	5,960	5,960
	金利オプション				
	売建	2,366,337	942,909	△633	211
	買建	1,806,213	514,636	480	△214
店頭	金利先渡契約				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
	金利スワップ				
	受取固定・支払変動	67,487,656	52,980,214	1,811,555	1,811,555
	受取変動・支払固定	65,160,600	50,676,977	△1,686,773	△1,686,773
	受取変動・支払変動	4,449,651	3,254,101	5,434	5,434
	金利オプション				
	売建	4,143,297	4,077,901	△75,794	△6,093
	買建	3,360,187	3,267,793	44,243	6,392
	その他				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
合計		―	―	98,816	130,818

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間連結損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、東京金融取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

(単位：百万円)

区分	種類	平成26年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	金利先物				
	売建	**38,994,919**	**28,833,158**	**△5,133**	**△5,133**
	買建	**36,853,122**	**26,214,932**	**7,620**	**7,620**
	金利オプション				
	売建	**3,522,267**	**625,133**	**△936**	**389**
	買建	**2,590,439**	**409,533**	**751**	**△365**
店頭	金利先渡契約				
	売建	**―**	**―**	**―**	**―**
	買建	**―**	**―**	**―**	**―**
	金利スワップ				
	受取固定・支払変動	**66,641,221**	**54,777,504**	**1,821,371**	**1,821,371**
	受取変動・支払固定	**65,489,366**	**53,521,465**	**△1,702,952**	**△1,702,952**
	受取変動・支払変動	**4,566,598**	**3,540,888**	**4,310**	**4,310**
	金利オプション				
	売建	**4,845,046**	**4,748,851**	**△56,419**	**△4,946**
	買建	**3,782,497**	**3,721,209**	**33,528**	**3,061**
	その他				
	売建	**―**	**―**	**―**	**―**
	買建	**―**	**―**	**―**	**―**
合計		**―**	**―**	**102,141**	**123,356**

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間連結損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、東京金融取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

デリバティブ取引関係

(2) 通貨関連取引

(単位：百万円)

区分	種類	平成25年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	通貨先物				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
	通貨オプション				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
店頭	通貨スワップ	944,560	811,478	1,431	1,431
	為替予約				
	売建	3,911,063	307,148	△62,997	△62,997
	買建	3,782,434	493,086	111,817	111,817
	通貨オプション				
	売建	1,941,629	822,005	△82,115	2,410
	買建	1,925,412	785,497	66,896	△19,105
	その他				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
合計		―	―	35,032	33,557

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間連結損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

(単位：百万円)

区分	種類	平成26年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	通貨先物				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
	通貨オプション				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
店頭	通貨スワップ	**1,554,261**	**1,453,838**	**1,220**	**1,220**
	為替予約				
	売建	**6,818,475**	**355,037**	**△170,138**	**△170,138**
	買建	**6,903,234**	**444,007**	**237,886**	**237,886**
	通貨オプション				
	売建	**1,502,081**	**598,041**	**△85,927**	**△29,618**
	買建	**1,328,979**	**524,534**	**65,729**	**13,332**
	その他				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
合計		―	―	**48,770**	**52,682**

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間連結損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

(3) 株式関連取引

(単位：百万円)

区分	種類	平成25年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	株式指数先物				
	売建	85,301	―	448	448
	買建	45,797	―	△225	△225
	株式指数オプション				
	売建	47,797	―	△518	274
	買建	97,928	―	1,628	△230
店頭	有価証券店頭オプション				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
	有価証券店頭指数等スワップ				
	株価指数等変化率受取・短期変動金利支払	45,548	45,548	△1,147	△1,147
	短期変動金利受取・株価指数等変化率支払	45,548	45,548	1,147	1,147
	その他				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
合計		―	―	1,333	266

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間連結損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、東京証券取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

(単位：百万円)

区分	種類	平成26年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	株式指数先物				
	売建	**80,021**	**―**	**450**	**450**
	買建	**71,211**	**―**	**△585**	**△585**
	株式指数オプション				
	売建	**39,687**	**―**	**△166**	**84**
	買建	**99,101**	**―**	**1,131**	**△564**
店頭	有価証券店頭オプション				
	売建	**―**	**―**	**―**	**―**
	買建	**―**	**―**	**―**	**―**
	有価証券店頭指数等スワップ				
	株価指数等変化率受取・短期変動金利支払	**27,700**	**27,700**	**43**	**43**
	短期変動金利受取・株価指数等変化率支払	**27,700**	**27,700**	**△43**	**△43**
	その他				
	売建	**―**	**―**	**―**	**―**
	買建	**―**	**―**	**―**	**―**
合計		**―**	**―**	**830**	**△614**

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間連結損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、大阪取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

デリバティブ取引関係

(4) 債券関連取引

（単位：百万円）

区分	種類	平成25年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	債券先物				
	売建	1,420,898	―	△23,912	△23,912
	買建	1,388,410	―	21,676	21,676
	債券先物オプション				
	売建	167,743	―	△528	△125
	買建	171,801	―	507	83
店頭	債券先渡契約				
	売建	7,334	―	△230	△230
	買建	8,119	―	155	155
	債券店頭オプション				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
	その他				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
合計		―	―	△2,332	△2,352

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間連結損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、東京証券取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、金融情報ベンダーが提供する価格により算定しております。

（単位：百万円）

区分	種類	平成26年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	債券先物				
	売建	**2,027,080**	**―**	**△2,698**	**△2,698**
	買建	**1,915,076**	**―**	**4,712**	**4,712**
	債券先物オプション				
	売建	**202,297**	**―**	**△1,316**	**△575**
	買建	**235,828**	**―**	**431**	**△206**
店頭	債券先渡契約				
	売建	**51,514**	**―**	**△52**	**△52**
	買建	**74,992**	**―**	**81**	**81**
	債券店頭オプション				
	売建	**11,614**	**―**	**△41**	**△21**
	買建	**11,614**	**―**	**11**	**△25**
	その他				
	売建	**―**	**―**	**―**	**―**
	買建	**―**	**―**	**―**	**―**
合計		**―**	**―**	**1,127**	**1,214**

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間連結損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、大阪取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、金融情報ベンダーが提供する価格により算定しております。

(5) 商品関連取引

平成25年9月末

該当ありません。

平成26年9月末

該当ありません。

(6) クレジット・デリバティブ取引

(単位：百万円)

区分	種類	平成25年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
店頭	クレジット・デフォルト・スワップ				
	売建	4,800	4,800	61	61
	買建	21,529	21,529	△131	△131
	その他				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
合計		―	―	△70	△70

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間連結損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
割引現在価値により算定しております。
3. 「売建」は信用リスクの引受取引、「買建」は信用リスクの引渡取引であります。

(単位：百万円)

区分	種類	平成26年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
店頭	クレジット・デフォルト・スワップ				
	売建	**41,424**	**41,424**	**864**	**864**
	買建	**50,981**	**50,981**	**△1,429**	**△1,429**
	その他				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
合計		―	―	**△564**	**△564**

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間連結損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
割引現在価値により算定しております。
3. 「売建」は信用リスクの引受取引、「買建」は信用リスクの引渡取引であります。

デリバティブ取引関係

2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごと、ヘッジ会計の方法別の中間連結決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額及び時価並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。なお、契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

(1) 金利関連取引

(単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成25年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価
原則的処理方法	金利スワップ	貸出金、その他有価証券（債券）、預金、社債等の有利息の金融資産・負債			
	受取固定・支払変動		5,267,247	2,581,647	6,934
	受取変動・支払固定		861,651	770,832	△32,342
	金利先物				
	売建		―	―	―
	買建		―	―	―
	金利オプション				
	売建		―	―	―
	買建		―	―	―
	その他				
	売建		―	―	―
	買建		―	―	―
金利スワップの特例処理	金利スワップ	借用金			(注)3
	受取固定・支払変動		17,553	17,553	
	受取変動・支払固定		―	―	
合計			―	―	△25,407

(注) 1. 主として「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号）に基づき、繰延ヘッジによっております。
2. 時価の算定
割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。
3. 金利スワップの特例処理によるものは、ヘッジ対象とされている借用金と一体として処理されているため、その時価は「金融商品関係」の当該借用金の時価に含めて記載しております。

(単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成26年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価
原則的処理方法	金利スワップ	貸出金、その他有価証券（債券）、預金、社債等の有利息の金融資産・負債			
	受取固定・支払変動		**3,548,034**	**2,219,913**	**9,275**
	受取変動・支払固定		**798,979**	**708,403**	**△35,455**
	金利先物				
	売建		―	―	―
	買建		―	―	―
	金利オプション				
	売建		―	―	―
	買建		―	―	―
	その他				
	売建		―	―	―
	買建		―	―	―
合計			―	―	**△26,179**

(注) 1. 主として「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号）に基づき、繰延ヘッジによっております。
2. 時価の算定
割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

(2) 通貨関連取引

(単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成25年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価
原則的処理方法	通貨スワップ	外貨建の貸出金、有価証券等	1,510,480	823,942	△214,384
	為替予約				
	売建		―	―	―
	買建		18,942	―	△116
	その他				
	売建		―	―	―
	買建		―	―	―
合計			―	―	△214,501

(注) 1. 主として「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第25号) に基づき、繰延ヘッジによっております。
2. 時価の算定
割引現在価値等により算定しております。

(単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成26年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価
原則的処理方法	通貨スワップ	外貨建の貸出金、有価証券等	**1,816,823**	**1,295,587**	**△210,956**
	為替予約				
	売建		**―**	**―**	**―**
	買建		**9,706**	**―**	**289**
	その他				
	売建		**―**	**―**	**―**
	買建		**―**	**―**	**―**
合計			**―**	**―**	**△210,667**

(注) 1. 主として「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第25号) に基づき、繰延ヘッジによっております。
2. 時価の算定
割引現在価値等により算定しております。

(3) 株式関連取引

平成25年9月末

該当ありません。

(単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成26年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価
ヘッジ対象に係る損益を認識する方法	有価証券指数等スワップ	その他有価証券(株式)			
	株価指数等変化率受取・短期変動金利支払		**―**	**―**	**―**
	短期変動金利受取・株価指数等変化率支払		**12,557**	**3,814**	**138**
合計			**―**	**―**	**138**

(注) 時価の算定
割引現在価値により算定しております。

(4) 債券関連取引

平成25年9月末

該当ありません。

平成26年9月末

該当ありません。

セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

（単位：百万円）

	平成25年度中間期					
	銀行信託事業	リース事業	金融関連事業	計	消去又は全社	連結
Ⅰ経常収益						
（1）外部顧客に対する経常収益	417,478	122,393	61,361	601,233	―	601,233
（2）セグメント間の内部経常収益	6,233	242	402	6,878	(6,878)	―
計	423,711	122,636	61,763	608,111	(6,878)	601,233
経常費用	319,676	114,427	53,112	487,216	(4,190)	483,025
経常利益	104,035	8,208	8,651	120,895	(2,687)	118,207
Ⅱ資産	38,628,902	923,998	671,700	40,224,601	(813,134)	39,411,467

（単位：百万円）

	平成26年度中間期					
	銀行信託事業	リース事業	金融関連事業	計	消去又は全社	連結
Ⅰ経常収益						
（1）外部顧客に対する経常収益	**395,180**	**114,135**	**59,834**	**569,150**	**―**	**569,150**
（2）セグメント間の内部経常収益	**4,217**	**253**	**478**	**4,949**	**(4,949)**	**―**
計	**399,398**	**114,388**	**60,312**	**574,099**	**(4,949)**	**569,150**
経常費用	**267,496**	**107,609**	**54,137**	**429,243**	**(3,327)**	**425,916**
経常利益	**131,902**	**6,778**	**6,174**	**144,855**	**(1,622)**	**143,233**
Ⅱ資産	**41,063,695**	**795,877**	**784,795**	**42,644,368**	**(782,772)**	**41,861,595**

（注）1. 各事業の主な内容は次のとおりであります。
①銀行信託事業…信託銀行業及びその付随業務、従属業務
②リース事業…リース業
③金融関連事業…金銭貸付業、投資運用業、投資助言業、クレジットカード業等
2. 一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益を記載しております。

（参考）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当グループの報告セグメントは、当グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当グループは、三井住友信託銀行株式会社と、その他の連結会社で構成されており、三井住友信託銀行及び三井住友トラスト・パナソニックファイナンスを報告セグメントとしております。報告セグメントの主たる業務は、以下に示すとおりです。

「三井住友信託銀行」……信託銀行業務

「三井住友トラスト・パナソニックファイナンス」……リース業務

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であり、報告セグメントの利益は税金等調整前中間純利益であります。

なお、セグメント間の内部取引における価額は、外部顧客との取引価額と同一であります。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

（単位：百万円）

	平成25年度中間期						
	報告セグメント						
	三井住友信託銀行	三井住友トラスト・パナソニックファイナンス	計	その他	合計	調整額	中間連結財務諸表計上額
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	400,452	122,378	522,830	78,402	601,233	－	601,233
セグメント間の内部経常収益	7,506	274	7,781	40,015	47,796	△47,796	－
計	407,959	122,652	530,611	118,417	649,029	△47,796	601,233
セグメント利益	89,059	8,376	97,435	26,760	124,195	△7,183	117,012
セグメント資産	38,240,383	910,840	39,151,224	8,207,746	47,358,970	△7,947,503	39,411,467
セグメント負債	36,266,162	765,986	37,032,149	7,629,045	44,661,194	△7,579,582	37,081,612
その他の項目							
減価償却費	12,792	557	13,350	1,885	15,235	△639	14,595
のれんの償却額	－	－	－	1,236	1,236	3,300	4,537
資金運用収益	173,254	967	174,221	14,542	188,763	△10,806	177,957
資金調達費用	72,374	2,148	74,523	2,193	76,716	△7,842	68,874
特別利益	211	70	281	－	281	10	291
（固定資産処分益）	211	70	281	－	281	10	291
特別損失	1,431	12	1,444	42	1,486	－	1,486
（固定資産処分損）	923	12	935	23	958	－	958
（減損損失）	508	－	508	19	528	－	528
のれんの未償却残高	－	－	－	32,403	32,403	75,872	108,276

セグメント情報

（単位：百万円）

	平成26年度中間期						
	報告セグメント						
	三井住友信託銀行	三井住友トラスト・パナソニックファイナンス	計	その他	合計	調整額	中間連結財務諸表計上額
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	375,567	114,135	489,702	79,448	569,150	―	569,150
セグメント間の内部経常収益	5,092	851	5,943	31,819	37,763	△37,763	―
計	380,659	114,986	495,646	111,267	606,913	△37,763	569,150
セグメント利益	71,142	6,800	77,942	24,457	102,400	△6,115	96,284
セグメント資産	40,809,299	879,908	41,689,207	8,459,478	50,148,685	△8,287,090	41,861,595
セグメント負債	38,690,610	730,890	39,421,501	7,981,408	47,402,909	△7,930,188	39,472,721
その他の項目							
減価償却費	12,676	578	13,254	1,658	14,912	△460	14,452
のれんの償却額	―	―	―	1,141	1,141	3,158	4,300
資金運用収益	173,976	1,116	175,093	12,013	187,106	△6,449	180,656
資金調達費用	63,919	1,911	65,830	2,084	67,915	△5,360	62,554
特別利益	1,060	516	1,576	―	1,576	―	1,576
（固定資産処分益）	1,060	516	1,576	―	1,576	―	1,576
特別損失	47,899	604	48,503	6	48,510	15	48,525
（減損損失）	1,008	―	1,008	―	1,008	650	1,658
（システム統合費用）	46,693	―	46,693	―	46,693	△635	46,058
のれんの未償却残高	―	―	―	26,849	26,849	67,107	93,957

（注）1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。
2. 報告セグメントのうち、「三井住友トラスト・パナソニックファイナンス」については、連結数値で記載しております。
3. 「その他」の区分は、当社及び三井住友トラスト・パナソニックファイナンスグループ以外の連結会社を含んでおります。
4. 調整額は連結調整によるものであります。
5. セグメント利益は、中間連結損益計算書の税金等調整前中間純利益と調整を行っております。

【関連情報】

1. サービスごとの情報

（単位：百万円）

	平成25年度中間期			
	信託銀行業	リース業	その他	合計
外部顧客に対する経常収益	400,452	122,378	78,402	601,233

（単位：百万円）

	平成26年度中間期			
	信託銀行業	リース業	その他	合計
外部顧客に対する経常収益	375,567	114,135	79,448	569,150

（注）一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 経常収益

（単位：百万円）

平成25年度中間期				
日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	合計
548,934	18,301	15,214	18,782	601,233

（単位：百万円）

平成26年度中間期				
日本	米州	欧州	アジア・オセアニア	合計
500,854	22,913	21,379	24,002	569,150

（注）1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。
2. 当社（海外店を除く）及び国内連結子会社の取引に係る経常収益は「日本」に分類しております。また、当社の海外店及び在外連結子会社の取引に係る経常収益は、海外店及び各社の所在地を基礎とし、地理的な近接度等を考慮の上、「米州」「欧州」「アジア・オセアニア」に分類しております。

(2) 有形固定資産

当グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が中間連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

当グループと当グループの顧客との取引により発生する経常収益において、その多様な取引を膨大な相手先別に区分していないため、主要な顧客ごとの情報については記載しておりません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

「セグメント情報」に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

「セグメント情報」に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当ありません。

リスク管理債権の状況

（単位：百万円）

	平成25年9月末	平成26年9月末
銀行勘定		
破綻先債権額	3,598	**3,096**
延滞債権額	137,176	**110,221**
3カ月以上延滞債権額	—	**—**
貸出条件緩和債権額	123,502	**118,782**
合計	264,277	**232,101**
信託勘定		
破綻先債権額	—	**—**
延滞債権額	24,989	**16,164**
3カ月以上延滞債権額	—	**—**
貸出条件緩和債権額	316	**1,068**
合計	25,306	**17,232**
銀信合算		
総合計	289,583	**249,334**
貸出金残高		
銀行勘定	22,702,147	**24,412,632**
信託勘定	107,793	**73,626**

（注）部分直接償却（平成25年9月末41,640百万円、平成26年9月末17,273百万円）後の計数。

金融再生法に基づく資産区分の状況

（単位：百万円）

	平成25年9月末	平成26年9月末
銀行勘定		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	18,114	**14,953**
危険債権	146,529	**112,851**
要管理債権	123,502	**118,782**
合計	288,146	**246,587**
信託勘定		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	11	**11**
危険債権	24,978	**16,152**
要管理債権	316	**1,068**
合計	25,306	**17,232**
銀信合算		
総合計	313,452	**263,820**

（注）部分直接償却（平成25年9月末46,536百万円、平成26年9月末22,267百万円）後の計数。

主な業績指標

最近３中間事業年度及び２事業年度の主要指標

（単位：百万円）

	平成24年度中間期	平成25年度中間期	平成26年度中間期	平成24年度	平成25年度
経常収益	367,583	407,959	**380,659**	725,475	778,194
資金運用収益	170,451	173,254	**173,976**	333,312	348,379
信託報酬	43,120	48,719	**49,418**	89,984	99,302
経常費用	305,202	317,679	**262,678**	534,827	589,757
資金調達費用	65,264	72,374	**63,919**	133,802	140,470
業務粗利益	233,926	229,364	**236,372**	449,674	461,585
一般貸倒引当金繰入額	－	－	**－**	－	－
経費	△120,085	△124,790	**△124,802**	△239,422	△249,712
実質業務純益	113,848	104,579	**111,569**	210,258	211,877
業務純益	113,841	104,574	**111,569**	210,251	211,872
経常利益	62,381	90,279	**117,981**	190,648	188,436
中間（当期）純利益	41,422	56,204	**68,316**	105,160	116,002
資本金	342,037	342,037	**342,037**	342,037	342,037
発行済株式総数（普通株式）	1,674,537千株	1,674,537千株	**1,674,537千株**	1,674,537千株	1,674,537千株
発行済株式総数（優先株式）	109,000千株	109,000千株	**109,000千株**	109,000千株	109,000千株
純資産額	1,912,168	1,974,221	**2,118,688**	1,884,714	2,031,168
総資産額	32,748,992	38,240,383	**40,809,299**	35,294,966	39,122,664
預金残高	21,984,346	23,615,364	**23,887,174**	22,885,737	24,072,972
貸出金残高	21,241,320	22,961,343	**24,621,421**	22,349,067	24,034,244
有価証券残高	7,143,409	5,910,864	**5,473,393**	6,531,276	5,971,283
1株当たり純資産額	1,075.43円	1,112.49円	**1,198.76円**	1,060.26円	1,146.50円
1株当たり（中間）配当額（普通株式）	5.50円	－円	**13.51円**	169.04円	16.88円
1株当たり（中間）配当額（優先株式）	21.15円	21.15円	**21.15円**	42.30円	42.30円
1株当たり中間（当期）純利益金額	23.35円	32.18円	**39.42円**	60.04円	66.52円
潜在株式調整後1株当たり中間（当期）純利益金額	－円	－円	**－円**	－円	－円
信託財産残高	126,273,341	133,662,914	**143,664,863**	127,042,831	136,794,720
信託勘定貸出金残高	424,962	479,720	**665,193**	468,216	541,613
信託勘定有価証券残高	506,510	960,545	**1,322,517**	721,626	1,254,913
自己資本比率（国際統一基準）	17.05%				
普通株式等Tier Ⅰ比率（注）		8.99%	**8.70%**	8.40%	8.74%
Tier Ⅰ比率（注）		10.54%	**9.84%**	9.90%	9.91%
総自己資本比率（注）		15.41%	**13.94%**	14.25%	13.97%
従業員数	13,135人	12,905人	**13,802人**	12,790人	13,587人

（注）平成24年度よりバーゼルⅢ基準を適用し、普通株式等Tier Ⅰ比率、Tier Ⅰ比率、総自己資本比率を記載しております。

中間財務諸表

中間貸借対照表

（単位：百万円）

	平成25年度中間期 平成25年9月30日現在	平成26年度中間期 平成26年9月30日現在
（資産の部）		
現金預け金	5,912,043	**7,231,033**
コールローン	368,205	**411,849**
買現先勘定	84,850	**109,593**
債券貸借取引支払保証金	295,887	**307,593**
買入金銭債権	154,831	**124,392**
特定取引資産 (注)2,8	629,971	**611,147**
金銭の信託	12,000	**－**
有価証券 (注)1,2,8,12	5,910,864	**5,473,393**
貸出金 (注)3,4,5,6,7,8,9	22,961,343	**24,621,421**
外国為替	32,881	**10,985**
その他資産	1,117,806	**1,200,702**
その他の資産 (注)8	1,117,806	**1,200,702**
有形固定資産	204,134	**199,891**
無形固定資産	81,956	**46,874**
前払年金費用	232,451	**180,812**
支払承諾見返	328,733	**350,668**
貸倒引当金	△87,577	**△71,060**
資産の部合計	38,240,383	**40,809,299**
（負債の部）		
預金 (注)8	23,615,364	**23,887,174**
譲渡性預金	4,909,091	**6,598,278**
コールマネー	231,147	**354,909**
売現先勘定 (注)8	1,145,575	**1,096,905**
債券貸借取引受入担保金 (注)8	－	**11,387**
特定取引負債	224,287	**250,575**
借用金 (注)8,10	1,566,839	**1,791,599**
外国為替	540	**70**
短期社債	968,833	**821,040**
社債 (注)11	963,880	**976,150**
信託勘定借	1,336,449	**1,487,632**
その他負債	920,654	**943,621**
未払法人税等	1,698	**1,085**
リース債務	1,619	**1,451**
資産除去債務	3,629	**3,547**
その他の負債	913,706	**937,537**
賞与引当金	8,325	**8,488**
退職給付引当金	666	**635**
睡眠預金払戻損失引当金	4,757	**3,637**
偶発損失引当金	10,756	**8,864**
繰延税金負債	26,259	**95,257**
再評価に係る繰延税金負債	4,000	**3,712**
支払承諾 (注)8	328,733	**350,668**
負債の部合計	36,266,162	**38,690,610**
（純資産の部）		
資本金	342,037	**342,037**
資本剰余金	601,259	**601,259**
資本準備金	273,016	**273,016**
その他資本剰余金	328,242	**328,242**
利益剰余金	786,780	**853,534**
利益準備金	69,020	**69,020**
その他利益剰余金	717,759	**784,513**
別途準備金	371,870	**371,870**
繰越利益剰余金	345,889	**412,643**
株主資本合計	1,730,077	**1,796,830**
その他有価証券評価差額金	247,912	**331,141**
繰延ヘッジ損益	△5,997	**△9,934**
土地再評価差額金	2,228	**650**
評価・換算差額等合計	244,143	**321,857**
純資産の部合計	1,974,221	**2,118,688**
負債及び純資産の部合計	38,240,383	**40,809,299**

中間財務諸表

中間損益計算書

（単位：百万円）

	平成25年度中間期 平成25年4月 1日から 平成25年9月30日まで	平成26年度中間期 平成26年4月 1日から 平成26年9月30日まで
経常収益	407,959	**380,659**
信託報酬	48,719	**49,418**
資金運用収益	173,254	**173,976**
（うち貸出金利息）	117,367	**123,326**
（うち有価証券利息配当金）	50,528	**42,816**
役務取引等収益	86,768	**86,841**
特定取引収益	12,103	**15,203**
その他業務収益	29,648	**26,171**
その他経常収益 (注)1	57,465	**29,048**
経常費用	317,679	**262,678**
資金調達費用	72,374	**63,919**
（うち預金利息）	36,698	**34,427**
役務取引等費用	35,630	**35,787**
特定取引費用	272	**134**
その他業務費用	12,874	**15,409**
営業経費 (注)2	134,345	**133,805**
その他経常費用 (注)3	62,181	**13,622**
経常利益	90,279	**117,981**
特別利益	211	**1,060**
特別損失 (注)4	1,431	**47,899**
税引前中間純利益	89,059	**71,142**
法人税、住民税及び事業税	4,109	**2,052**
法人税等調整額	28,745	**773**
法人税等合計	32,855	**2,826**
中間純利益	56,204	**68,316**

中間株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

	平成25年度中間期（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）							
	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	342,037	273,016	335,778	608,794	69,020	687,964	756,985	1,707,817
当中間期変動額								
剰余金の配当			△7,535	△7,535		△27,045	△27,045	△34,580
中間純利益						56,204	56,204	56,204
土地再評価差額金の取崩						635	635	635
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）								
当中間期変動額合計	－	－	△7,535	△7,535	－	29,795	29,795	22,259
当中間期末残高	342,037	273,016	328,242	601,259	69,020	717,759	786,780	1,730,077

	平成25年度中間期（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）				
	評価・換算差額等				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	181,641	△7,609	2,864	176,896	1,884,714
当中間期変動額					
剰余金の配当					△34,580
中間純利益					56,204
土地再評価差額金の取崩					635
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	66,271	1,612	△635	67,247	67,247
当中間期変動額合計	66,271	1,612	△635	67,247	89,506
当中間期末残高	247,912	△5,997	2,228	244,143	1,974,221

（次頁へ続く）

中間財務諸表

中間株主資本等変動計算書

（前頁より続く）

（単位：百万円）

	平成26年度中間期（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）							
	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計	
当期首残高	342,037	273,016	328,242	601,259	69,020	775,858	844,879	1,788,176
会計方針の変更による累積的影響額						△30,062	△30,062	△30,062
会計方針の変更を反映した当期首残高	342,037	273,016	328,242	601,259	69,020	745,796	814,817	1,758,113
当中間期変動額								
剰余金の配当						△30,571	△30,571	△30,571
中間純利益						68,316	68,316	68,316
土地再評価差額金の取崩						971	971	971
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）								
当中間期変動額合計	―	―	―	―	―	38,716	38,716	38,716
当中間期末残高	342,037	273,016	328,242	601,259	69,020	784,513	853,534	1,796,830

	平成26年度中間期（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）				
	評価・換算差額等				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	247,804	△6,434	1,622	242,992	2,031,168
会計方針の変更による累積的影響額					△30,062
会計方針の変更を反映した当期首残高	247,804	△6,434	1,622	242,992	2,001,106
当中間期変動額					
剰余金の配当					△30,571
中間純利益					68,316
土地再評価差額金の取崩					971
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	83,337	△3,500	△971	78,865	78,865
当中間期変動額合計	83,337	△3,500	△971	78,865	117,582
当中間期末残高	331,141	△9,934	650	321,857	2,118,688

注記事項（平成26年度中間期）

（重要な会計方針）

1. 特定取引資産・負債の評価基準及び収益・費用の計上基準

金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標に係る短期的な変動、市場間の格差等を利用して利益を得る等の目的（以下、「特定取引目的」という。）の取引については、取引の約定時点を基準とし、中間貸借対照表上「特定取引資産」及び「特定取引負債」に計上するとともに、当該取引からの損益を中間損益計算書上「特定取引収益」及び「特定取引費用」に計上しております。

特定取引資産及び特定取引負債の評価は、有価証券及び金銭債権等については中間決算日の時価により、スワップ・先物・オプション取引等の派生商品については中間決算日において決済したものとみなした額により行っております。

また、特定取引収益及び特定取引費用の損益計上は、当中間会計期間中の受払利息等に、有価証券、金銭債権等については前事業年度末と当中間会計期間末における評価損益の増減額を、派生商品については前事業年度末と当中間会計期間末におけるみなし決済からの損益相当額の増減額を加えております。

2. 有価証券の評価基準及び評価方法

（1）有価証券の評価は、満期保有目的の債券については移動平均法による償却原価法（定額法）、子会社株式及び関連会社株式については移動平均法による原価法、その他有価証券のうち株式については原則として中間決算日前1カ月の市場価格の平均に基づく時価法（売却原価は主として移動平均法により算定）、株式以外については原則として中間決算日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は主として移動平均法により算定）、ただし時価を把握することが極めて困難と認められるものについては移動平均法による原価法により行っております。

なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。

（2）金銭の信託において信託財産を構成している有価証券の評価は、上記1.及び2.（1）と同じ方法により行っております。

3. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法

デリバティブ取引（特定取引目的の取引を除く）の評価は、時価法により行っております。

4. 固定資産の減価償却の方法

（1）有形固定資産（リース資産を除く）

有形固定資産は、定率法（ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物（建物附属設備を除く。）については定額法）を採用し、年間減価償却費見積額を期間により按分し計上しております。

また、主な耐用年数は次のとおりであります。

建　物　　3年～60年
その他　　2年～20年

（2）無形固定資産（リース資産を除く）

無形固定資産は、定額法により償却しております。なお、自社利用のソフトウエアについては、当社内における利用可能期間（5年）に基づいて償却しております。

（3）リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る「有形固定資産」及び「無形固定資産」中のリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法により償却しております。

5. 引当金の計上基準

（1）貸倒引当金

貸倒引当金は、予め定めている償却・引当基準に則り、次のとおり計上しております。

破産、特別清算等法的に経営破綻の事実が発生している債務者（以下、「破綻先」という。）に係る債権及びそれと同等の状況にある債務者（以下、「実質破綻先」という。）に係る債権については、以下のなお書きに記載されている直接減額後の帳簿価額から、担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額を計上しております。また、現在は経営破綻の状況にないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者（以下、「破綻懸念先」という。）に係る債権については、債権額から、担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち、債務者の支払能力を総合的に判断し必要と認める額を計上しております。

破綻懸念先及び貸出条件緩和債権等を有する債務者並びにその他今後の管理に注意を要する債務者のうち一定範囲に区分される信用リスクを有する債務者で、与信額が一定額以上の大口債務者に対する債権のうち、債権の元本の回収及び利息の受取りに係るキャッシュ・フローを合理的に見積ることができるものについては、当該キャッシュ・フローを貸出条件緩和実施前の約定利子率等で割引いた金額と債権の帳簿価額との差額を貸倒引当金とする方法（キャッシュ・フロー見積法）により計上しております。

上記以外の債権については、過去の一定期間における貸倒実績から算出した貸倒実績率等に基づき計上しております。

すべての債権は、資産の自己査定基準に基づき、営業店及び審査各部が資産査定を実施し、当該部署から独立したリスク統括部が査定結果を検証しております。

なお、破綻先及び実質破綻先に対する担保・保証付債権等については、債権額から担保の評価額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額を取立不能見込額として債権額から直接減額しており、その金額は15,996百万円であります。

（2）賞与引当金

賞与引当金は、従業員への賞与の支払いに備えるため、従業員に対する賞与の支給見込額のうち、当中間会計期間に帰属する額を計上しております。

（3）退職給付引当金

退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。また、退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当中間会計期間末までの期間に帰属させる方法については給付算定式基準によっております。なお、過去勤務費用及び数理計算上の差異の損益処理方法は次のとおりであります。

過去勤務費用：
その発生年度の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（10年）による定額法により損益処理

数理計算上の差異：
各発生年度の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（8～10年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌事業年度から損益処理

（4）睡眠預金払戻損失引当金

睡眠預金払戻損失引当金は、一定の条件を満たし負債計上を中止した預金について、預金者からの払戻請求に備えるため、過去の払戻実績に基づく将来の払戻損失見込額を計上しております。

（5）偶発損失引当金

偶発損失引当金は、信託取引等に関して偶発的に発生する損失に備えるため、将来発生する可能性のある損失を見積り、必要と認められる額を計上しております。

6. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建資産・負債及び海外支店勘定は、取得時の為替相場による円換算額を付す子会社株式及び関連会社株式を除き、主として中間決算日の為替相場による円換算額を付しております。

7. ヘッジ会計の方法

（イ）金利リスク・ヘッジ

金融資産・負債から生じる金利リスクに対するヘッジ会計の方法は、主として「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号。以下、「業種別監査委員会報告第24号」という。）に規定する繰延ヘッジによっております。ヘッジ有効性評価の方法については、相場変動を相殺するヘッジについて、ヘッジ対象となる預金・貸出金等とヘッジ手段である金利スワップ取引等を一定の残存期間毎にグルーピングのうえ特定し評価しております。また、キャッシュ・フローを固定するヘッジについては、ヘッジ対象とヘッジ手段の金利変動要素の相関関係の検証により有効性の評価をしております。

また、当中間会計期間末の中間貸借対照表に計上している繰延ヘッジ損益のうち、「銀行業における金融商品会計基準適用に関する当面の会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第15号）を適用して実施しており

中間財務諸表

ました多数の貸出金・預金等から生じる金利リスクをデリバティブ取引を用いて総体で管理する従来の「マクロヘッジ」に基づく繰延ヘッジ損益は、「マクロヘッジ」で指定したそれぞれのヘッジ手段の残存期間に応じ期間配分しております。
なお、当中間会計期間末における「マクロヘッジ」に基づく繰延ヘッジ損失は400百万円（税効果額控除前）であります。

（ロ）為替変動リスク・ヘッジ
外貨建金融資産・負債から生じる為替変動リスクに対するヘッジ会計の方法は、「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第25号。以下、「業種別監査委員会報告第25号」という。）に規定する繰延ヘッジによっております。
ヘッジ有効性評価の方法については、外貨建金銭債権債務等の為替変動リスクを減殺する目的で行う通貨スワップ取引及び為替スワップ取引等をヘッジ手段とし、ヘッジ対象である外貨建金銭債権債務等に見合うヘッジ手段の外貨ポジション相当額が存在することを確認することによりヘッジの有効性を評価しております。
また、外貨建その他有価証券（債券以外）の為替変動リスクをヘッジするため、事前にヘッジ対象となる外貨建有価証券の銘柄を特定し、当該外貨建有価証券について外貨ベースで取得原価以上の直先負債が存在していること等を条件に包括ヘッジとして時価ヘッジを適用しております。

（ハ）株価変動リスク・ヘッジ
その他有価証券のうち一部の株式から生じる株価変動リスクに対するヘッジ会計の方法は、時価ヘッジによっており、当該個別ヘッジに係るヘッジ対象とヘッジ手段の時価変動額を比較する比率分析により有効性の評価をしております。

（ニ）内部取引等
デリバティブ取引のうち特定取引勘定とそれ以外の勘定との間の内部取引については、ヘッジ手段として指定している金利スワップ取引及び通貨スワップ取引等に対して、業種別監査委員会報告第24号及び同第25号に基づき、恣意性を排除し厳格なヘッジ運営が可能と認められる対外カバー取引の基準に準拠した運営を行っているため、当該金利スワップ取引及び通貨スワップ取引等から生じる収益及び費用は消去せずに損益認識又は繰延処理を行っております。
なお、一部の資産・負債については、個別取引毎の繰延ヘッジ又は時価ヘッジを行っております。

8. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項

（1）退職給付に係る会計処理
退職給付に係る未認識数理計算上の差異、未認識過去勤務費用の会計処理の方法は、中間連結財務諸表におけるこれらの会計処理の方法と異なっております。

（2）消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税（以下、「消費税等」という。）の会計処理は、税抜方式によっております。ただし、資産の取得に係る控除対象外消費税等は当中間会計期間の費用に計上しております。

（会計方針の変更）

（「退職給付に関する会計基準」等の適用）
「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下、「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下、「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当中間会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法をポイント基準から給付算定式基準へ変更しております。また、割引率の決定方法を主として支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。
退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当中間会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。
この結果、当中間会計期間の期首の前払年金費用が46,709百万円減少し、利益剰余金が30,062百万円減少しております。また、当中間会計期間の期首の1株当たり純資産額が17円95銭減少しております。なお、当中間会計期間の経常利益及び税引前中間純利益に及ぼす影響は軽微であります。

（表示方法の変更）

従来、「前払年金費用」については、「その他資産」の「その他の資産」に含めておりましたが、当中間会計期間より、独立掲記に変更しております。

（中間貸借対照表関係）

1. 関係会社の株式又は出資金の総額

株式	388,076百万円
出資金	51,429百万円

2. 無担保の消費貸借契約により借り入れている有価証券及び現先取引並びに現金担保付債券貸借取引等により受け入れている有価証券のうち、売却又は（再）担保という方法で自由に処分できる権利を有する有価証券は次のとおりであります。

再貸付けに供している有価証券	777,220百万円
当中間会計期間末に当該処分をせずに所有している有価証券	－百万円

3. 貸出金のうち破綻先債権額及び延滞債権額は次のとおりであります。

破綻先債権額	639百万円
延滞債権額	88,294百万円

なお、破綻先債権とは、元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金（貸倒償却を行った部分を除く。以下、「未収利息不計上貸出金」という。）のうち、法人税法施行令（昭和40年政令第97号）第96条第1項第3号のイからホまでに掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じている貸出金であります。
また、延滞債権とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予した貸出金以外の貸出金であります。

4. 貸出金のうち、3カ月以上延滞債権はありません。
なお、3カ月以上延滞債権とは、元本又は利息の支払が、約定支払日の翌日から3カ月以上遅延している貸出金で破綻先債権及び延滞債権に該当しないものであります。

5. 貸出金のうち、貸出条件緩和債権額は次のとおりであります。

貸出条件緩和債権額	108,375百万円

なお、貸出条件緩和債権とは、債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で破綻先債権、延滞債権及び3カ月以上延滞債権に該当しないものであります。

6. 破綻先債権額、延滞債権額、3カ月以上延滞債権額及び貸出条件緩和債権額の合計額は次のとおりであります。

合計額	197,309百万円

なお、上記3.から6.に掲げた債権額は、貸倒引当金控除前の金額であります。

7. 手形割引は、「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号）に基づき金融取引として処理しております。これにより受け入れた商業手形は、売却又は（再）担保という方法で自由に処分できる権利を有しておりますが、その額面金額は次のとおりであります。

3,202百万円

8. 担保に供している資産は次のとおりであります。

担保に供している資産

特定取引資産	107,872百万円
有価証券	1,220,579百万円
貸出金	1,281,872百万円
その他の資産	29,063百万円
計	2,639,388百万円

担保資産に対応する債務

預金	44,615百万円
売現先勘定	806,924百万円
債券貸借取引受入担保金	11,387百万円
借用金	970,450百万円
支払承諾	20,689百万円

上記のほか、為替決済等の取引の担保あるいは先物取引証拠金等の代用として、次のものを差し入れております。

有価証券	520,745百万円

また、その他の資産には、先物取引差入証拠金、保証金及び金融商品等差入担保金が含まれておりますが、その金額は次のとおりであります。

先物取引差入証拠金	5,673百万円
保証金	19,427百万円
金融商品等差入担保金	505,801百万円

9. 当座貸越契約及び貸付金に係るコミットメントライン契約は、顧客からの融資実行の申し出を受けた場合に、契約上規定された条件について違反がない限り、一定の限度額まで資金を貸付けることを約する契約であります。これらの契約に係る融資未実行残高は次のとおりであります。

融資未実行残高	11,750,086百万円
うち原契約期間が1年以内のもの（又は任意の時期に無条件で取消可能なもの）	8,730,415百万円

なお、これらの契約の多くは、融資実行されずに終了するものであるため、融資未実行残高そのものが必ずしも当社の将来のキャッシュ・フローに影響を与えるものではありません。これらの契約の多くには、金融情勢の変化、債権の保全及びその他相当の事由があるときは、当社が実行申し込みを受けた融資の拒絶又は契約極度額の減額をすることができる旨の条項が付けられております。また、契約時において必要に応じて不動産・有価証券等の担保を徴求するほか、契約後も定期的に予め定めている社内手続に基づき顧客の業況等を把握し、必要に応じて契約の見直し、与信保全上の措置等を講じております。

10. 借用金には、他の債務よりも債務の履行が後順位である旨の特約が付された劣後特約付借入金が含まれております。

劣後特約付借入金	338,100百万円

11. 社債には、劣後特約付社債が含まれております。

劣後特約付社債	606,694百万円

12. 有価証券中の社債のうち、有価証券の私募（金融商品取引法第2条第3項）による社債に対する保証債務の額 154,410百万円

13. 元本補てん契約のある信託の元本金額は、次のとおりであります。

金銭信託	1,450,973百万円
貸付信託	14,761百万円

（中間損益計算書関係）

1. その他経常収益には、次のものを含んでおります。

株式等売却益	11,917百万円
貸倒引当金戻入益	12,600百万円

2. 減価償却実施額は、次のとおりであります。

有形固定資産	4,645百万円
無形固定資産	8,030百万円

3. その他経常費用には、次のものを含んでおります。

株式等売却損	364百万円
株式等償却	232百万円
統合関連費用	3,753百万円
組合等出資金損失	1,638百万円

4. 当中間会計期間の特別損失は、システム統合費用46,693百万円を含んでおります。

当社は、平成24年4月1日に実施した住友信託銀行株式会社、中央三井信託銀行株式会社及び中央三井アセット信託銀行株式会社の合併以降併存状態にあった勘定系システムについて、当事業年度において段階的に完全統合を進めております。本システムの完全統合に伴う、旧行間のシステムデータ統合に関連して発生した費用については、システム統合費用として、個別のシステム移行完了時に費用処理しております。

（中間株主資本等変動計算書関係）

「その他利益剰余金」について合計額により記載しておりますが、その内訳は次のとおりであります。（単位：百万円）

	当事業年度期首残高	会計方針の変更による累積的影響額	会計方針の変更を反映した当期首残高	当中間会計期間変動額	当中間会計期間末残高
別途準備金	371,870	－	371,870	－	371,870
繰越利益剰余金	403,988	△30,062	373,926	38,716	412,643

（重要な後発事象）

（第1回第二種優先株式の取得及び消却）

当社は平成26年7月31日開催の取締役会において、当社発行の第1回第二種優先株式の全部につき、下記のとおり、当社定款第16条第2項の規定に基づく取得、ならびに当該取得を条件として会社法第178条の規定に基づく消却を行うことを決議いたしました。

上記決議に基づき、当社は平成26年10月1日付けで第1回第二種優先株式の全部を取得し、これをすべて消却いたしました。

取得の方法	第1回第二種優先株式の取得条項に基づく取得
取得・消却した株式の種類	第1回第二種優先株式
取得・消却した株式の総数	109,000,000株
取得価額・取得価額の総額	109,006,540,000円（1株につき1,000円6銭（注））
取得日	平成26年10月1日
消却の方法	その他資本剰余金からの減額

（注）第1回第二種優先株式1株当たりの払込金額相当額1,000円に、経過配当額6銭（平成26年4月1日（同日を含む。）から平成26年9月30日（同日を含む。）までの日数183日を365で除した数に、優先配当金の額42円30銭を乗じて得られる額21円21銭（円位未満小数第3位まで算出し、その小数第3位を四捨五入する。）から、取得日に支払われる中間配当金（21円15銭）を控除した額）を加算した金額となります。

監査法人の監査証明について

当社の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記については、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、有限責任 あずさ監査法人の監査証明を受けております。前掲の中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書及び注記事項は、上記の中間財務諸表に基づいて作成しております。

有価証券関係

※中間貸借対照表の「有価証券」のほか、「買入金銭債権」中の貸付債権信託受益権等を含めて記載しております。

(1) 満期保有目的の債券

（単位：百万円）

種類		平成25年9月末		
		中間貸借対照表計上額	時価	差額
時価が中間貸借対照表計上額を超えるもの	国債	255,303	264,607	9,304
	地方債	—	—	—
	短期社債	—	—	—
	社債	4,747	4,793	46
	その他	188,640	221,413	32,773
	外国債券	154,739	186,845	32,106
	その他	33,901	34,568	666
	小計	448,691	490,815	42,124
時価が中間貸借対照表計上額を超えないもの	国債	—	—	—
	地方債	—	—	—
	短期社債	—	—	—
	社債	—	—	—
	その他	18,374	18,316	△57
	外国債券	18,374	18,316	△57
	その他	—	—	—
	小計	18,374	18,316	△57
合計		467,065	509,132	42,066

（注）時価を把握することが極めて困難と認められる満期保有目的の債券はありません。

（単位：百万円）

種類		平成26年9月末		
		中間貸借対照表計上額	時価	差額
時価が中間貸借対照表計上額を超えるもの	国債	**234,926**	**247,895**	**12,968**
	地方債	**—**	**—**	**—**
	短期社債	**—**	**—**	**—**
	社債	**3,086**	**3,119**	**32**
	その他	**167,111**	**195,806**	**28,694**
	外国債券	**140,722**	**168,870**	**28,147**
	その他	**26,388**	**26,935**	**547**
	小計	**405,124**	**446,820**	**41,696**
時価が中間貸借対照表計上額を超えないもの	国債	**—**	**—**	**—**
	地方債	**—**	**—**	**—**
	短期社債	**—**	**—**	**—**
	社債	**—**	**—**	**—**
	その他	**5,269**	**5,265**	**△4**
	外国債券	**5,269**	**5,265**	**△4**
	その他	**—**	**—**	**—**
	小計	**5,269**	**5,265**	**△4**
合計		**410,393**	**452,086**	**41,692**

（注）時価を把握することが極めて困難と認められる満期保有目的の債券はありません。

(2) 子会社株式及び関連会社株式

時価のある子会社株式及び関連会社株式はありません。

また、時価を把握することが極めて困難と認められる子会社株式及び関連会社株式の中間貸借対照表計上額は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	平成25年9月末
	中間貸借対照表計上額
子会社株式	410,453
関連会社株式	29,048
合計	439,501

(単位：百万円)

	平成26年9月末
	中間貸借対照表計上額
子会社株式	**408,262**
関連会社株式	**31,243**
合計	**439,506**

(3) その他有価証券

(単位：百万円)

種類		平成25年9月末		
		中間貸借対照表計上額	取得原価	差額
時価が中間貸借対照表計上額を超えるもの	株式	977,343	549,215	428,128
	債券	1,302,575	1,296,045	6,529
	国債	912,388	910,199	2,189
	地方債	10,539	10,298	241
	短期社債	―	―	―
	社債	379,646	375,547	4,099
	その他	700,909	679,554	21,355
	外国株式	1,821	1,355	465
	外国債券	558,854	550,291	8,563
	その他	140,233	127,907	12,326
	小計	2,980,828	2,524,815	456,012
時価が中間貸借対照表計上額を超えないもの	株式	142,973	169,729	△26,755
	債券	886,030	887,647	△1,616
	国債	643,143	643,738	△595
	地方債	1,436	1,442	△6
	短期社債	―	―	―
	社債	241,450	242,466	△1,015
	その他	946,206	964,974	△18,767
	外国株式	―	―	―
	外国債券	798,825	805,534	△6,708
	その他	147,380	159,439	△12,059
	小計	1,975,210	2,022,350	△47,140
合計		4,956,038	4,547,166	408,872

(注) 時価を把握することが極めて困難と認められる主なその他有価証券

(単位：百万円)

	中間貸借対照表計上額
非上場株式	101,174
組合等出資金	48,125
その他	2,223
合計	151,523

非上場株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから時価開示の対象とはしておりません。
なお、当中間会計期間において、非上場株式について1,254百万円減損処理を行っております。
組合出資金のうち、組合財産が非上場株式など時価を把握することが極めて困難と認められるもので構成されているもの等については、時価開示の対象とはしておりません。

有価証券関係

（単位：百万円）

種類		平成26年9月末		
		中間貸借対照表計上額	取得原価	差額
時価が中間貸借対照表計上額を超えるもの	株式	1,120,911	553,044	567,867
	債券	904,103	898,731	5,372
	国債	448,163	446,957	1,206
	地方債	10,360	10,100	260
	短期社債	—	—	—
	社債	445,578	441,673	3,905
	その他	812,267	793,989	18,277
	外国株式	2,162	1,515	646
	外国債券	718,342	707,058	11,284
	その他	91,763	85,416	6,347
	小計	2,837,282	2,245,765	591,517
時価が中間貸借対照表計上額を超えないもの	株式	112,057	138,251	△26,193
	債券	492,964	493,653	△689
	国債	349,990	349,992	△2
	地方債	2,610	2,619	△9
	短期社債	—	—	—
	社債	140,364	141,041	△677
	その他	1,105,869	1,131,975	△26,105
	外国株式	—	—	—
	外国債券	905,626	910,219	△4,592
	その他	200,243	221,756	△21,513
	小計	1,710,892	1,763,880	△52,988
合計		4,548,174	4,009,646	538,528

（注）時価を把握することが極めて困難と認められる主なその他有価証券

（単位：百万円）

	中間貸借対照表計上額
非上場株式	92,693
組合等出資金	56,758
その他	3,014
合計	152,466

非上場株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから時価開示の対象とはしておりません。
なお、当中間会計期間において、非上場株式について163百万円、その他について0百万円減損処理を行っております。
組合等出資金のうち、組合財産が非上場株式など時価を把握することが極めて困難と認められるもので構成されているもの等については、時価開示の対象とはしておりません。

(4) 減損処理を行った有価証券

売買目的有価証券以外の有価証券（時価を把握することが極めて困難なものを除く。）のうち、当該有価証券の時価が取得原価に比べて著しく下落しており、時価が取得原価まで回復する見込みがあると認められないものについては、当該時価をもって中間貸借対照表計上額とするとともに、評価差額を当中間会計期間の損失として処理（以下、「減損処理」という）しております。

前中間会計期間における減損処理額は、株式24百万円であります。

当中間会計期間における減損処理額は、株式69百万円であります。

また、時価が「著しく下落した」と判断するための基準は、資産の自己査定において、有価証券の発行会社の区分が正常先に該当するものについては、時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合とし、今後の管理に注意を要する要注意先以下に該当するものについては、時価が取得原価に比べ30%以上下落した場合であります。なお、一部の有価証券については、上記に加え、時価が取得原価に比べて30%以上50%未満下落し、かつ一定期間下落が継続している場合には、時価に回復可能性がないものとして減損処理を行っております。

金銭の信託関係

(1) 満期保有目的の金銭の信託

平成25年度中間期

該当ありません。

平成26年度中間期

該当ありません。

(2) その他の金銭の信託（運用目的及び満期保有目的以外）

（単位：百万円）

	平成25年9月末				
	中間貸借対照表計上額	取得原価	差額	うち中間貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	うち中間貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの
その他の金銭の信託	12,000	12,000	―	―	―

（注）当中間会計期間末において、信託財産構成物に時価のある有価証券等は含まれておりません。

平成26年9月末

該当ありません。

その他有価証券評価差額金

平成25年度中間期

中間貸借対照表に計上されているその他有価証券評価差額金の内訳は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

	平成25年9月末
評価差額	373,465
その他有価証券	373,465
その他の金銭の信託	―
(△) 繰延税金負債	125,552
その他有価証券評価差額金	247,912

（注）1. 時価のない外貨建その他有価証券に係る為替換算差額及び投資事業組合等の評価差額については、「評価差額」の内訳「その他有価証券」に含めて記載しております。
2. 保有目的を変更した有価証券に関して変更時に生じた評価差額の中間期末における未償却残高については、「評価差額」の内訳「その他有価証券」に含めて記載しております。

平成26年度中間期

中間貸借対照表に計上されているその他有価証券評価差額金の内訳は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

	平成26年9月末
評価差額	**510,644**
その他有価証券	**510,644**
その他の金銭の信託	**―**
(△) 繰延税金負債	**179,502**
その他有価証券評価差額金	**331,141**

（注）1. 時価のない外貨建その他有価証券に係る為替換算差額及び投資事業組合等の評価差額については、「評価差額」の内訳「その他有価証券」に含めて記載しております。
2. 保有目的を変更した有価証券に関して変更時に生じた評価差額の中間期末における未償却残高については、「評価差額」の内訳「その他有価証券」に含めて記載しております。

デリバティブ取引関係

1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごとの中間決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額、時価及び評価損益並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。なお、契約額については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

(1) 金利関連取引

(単位：百万円)

区分	種類	平成25年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	金利先物				
	売建	16,304,162	8,881,712	△5,654	△5,654
	買建	16,554,820	8,470,610	5,960	5,960
	金利オプション				
	売建	2,366,337	942,909	△633	211
	買建	1,806,213	514,636	480	△214
店頭	金利先渡契約				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
	金利スワップ				
	受取固定・支払変動	67,523,323	53,006,394	1,811,988	1,811,988
	受取変動・支払固定	65,165,315	50,681,692	△1,686,883	△1,686,883
	受取変動・支払変動	4,449,651	3,254,101	5,434	5,434
	金利オプション				
	売建	4,143,297	4,077,901	△75,794	△6,093
	買建	3,360,187	3,267,793	44,243	6,392
	その他				
	売建	―	―	―	―
	買建	―	―	―	―
合計		―	―	99,139	131,140

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、東京金融取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

(単位：百万円)

区分	種類	平成26年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	金利先物				
	売建	**38,994,919**	**28,833,158**	**△5,133**	**△5,133**
	買建	**36,853,122**	**26,214,932**	**7,620**	**7,620**
	金利オプション				
	売建	**3,522,267**	**625,133**	**△936**	**389**
	買建	**2,590,439**	**409,533**	**751**	**△365**
店頭	金利先渡契約				
	売建	**―**	**―**	**―**	**―**
	買建	**―**	**―**	**―**	**―**
	金利スワップ				
	受取固定・支払変動	**66,722,469**	**54,841,170**	**1,821,786**	**1,821,786**
	受取変動・支払固定	**65,489,366**	**53,521,465**	**△1,702,952**	**△1,702,952**
	受取変動・支払変動	**4,566,598**	**3,540,888**	**4,310**	**4,310**
	金利オプション				
	売建	**4,845,046**	**4,748,851**	**△56,419**	**△4,946**
	買建	**3,782,497**	**3,721,209**	**33,528**	**3,061**
	その他				
	売建	**―**	**―**	**―**	**―**
	買建	**―**	**―**	**―**	**―**
合計		**―**	**―**	**102,555**	**123,770**

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、東京金融取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

(2) 通貨関連取引

(単位：百万円)

区分	種類	平成25年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	通貨先物				
	売建	－	－	－	－
	買建	－	－	－	－
	通貨オプション				
	売建	－	－	－	－
	買建	－	－	－	－
店頭	通貨スワップ	944,560	811,478	1,431	1,431
	為替予約				
	売建	3,911,063	307,148	△62,997	△62,997
	買建	3,783,831	493,086	111,789	111,789
	通貨オプション				
	売建	1,941,629	822,005	△82,115	2,410
	買建	1,925,412	785,497	66,896	△19,105
	その他				
	売建	－	－	－	－
	買建	－	－	－	－
合計		－	－	35,004	33,529

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

(単位：百万円)

区分	種類	平成26年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	通貨先物				
	売建	－	－	－	－
	買建	－	－	－	－
	通貨オプション				
	売建	－	－	－	－
	買建	－	－	－	－
店頭	通貨スワップ	**1,554,261**	**1,453,838**	**1,220**	**1,220**
	為替予約				
	売建	**6,818,475**	**355,037**	**△170,138**	**△170,138**
	買建	**6,905,323**	**444,007**	**237,953**	**237,953**
	通貨オプション				
	売建	**1,502,081**	**598,041**	**△85,927**	**△29,618**
	買建	**1,328,979**	**524,534**	**65,729**	**13,332**
	その他				
	売建	－	－	－	－
	買建	－	－	－	－
合計		－	－	**48,837**	**52,749**

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

デリバティブ取引関係

(3) 株式関連取引

（単位：百万円）

区分	種類	平成25年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	株式指数先物				
	売建	85,301	－	448	448
	買建	45,797	－	△225	△225
	株式指数オプション				
	売建	47,797	－	△518	274
	買建	97,928	－	1,628	△230
店頭	有価証券店頭オプション				
	売建	－	－	－	－
	買建	－	－	－	－
	有価証券店頭指数等スワップ				
	株価指数等変化率受取・短期変動金利支払	45,548	45,548	△1,147	△1,147
	短期変動金利受取・株価指数等変化率支払	45,548	45,548	1,147	1,147
	その他				
	売建	－	－	－	－
	買建	－	－	－	－
合計		－	－	1,333	266

（注）1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、東京証券取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

（単位：百万円）

区分	種類	平成26年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	株式指数先物				
	売建	**80,021**	**－**	**450**	**450**
	買建	**71,211**	**－**	**△585**	**△585**
	株式指数オプション				
	売建	**39,687**	**－**	**△166**	**84**
	買建	**99,101**	**－**	**1,131**	**△564**
店頭	有価証券店頭オプション				
	売建	**－**	**－**	**－**	**－**
	買建	**－**	**－**	**－**	**－**
	有価証券店頭指数等スワップ				
	株価指数等変化率受取・短期変動金利支払	**27,700**	**27,700**	**43**	**43**
	短期変動金利受取・株価指数等変化率支払	**27,700**	**27,700**	**△43**	**△43**
	その他				
	売建	**－**	**－**	**－**	**－**
	買建	**－**	**－**	**－**	**－**
合計		**－**	**－**	**830**	**△614**

（注）1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、大阪取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

(4) 債券関連取引

(単位：百万円)

区分	種類	平成25年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	債券先物				
	売建	1,420,898	－	△23,912	△23,912
	買建	1,388,410	－	21,676	21,676
	債券先物オプション				
	売建	167,743	－	△528	△125
	買建	171,801	－	507	83
店頭	債券先渡契約				
	売建	7,334	－	△230	△230
	買建	8,119	－	155	155
	債券店頭オプション				
	売建	－	－	－	－
	買建	－	－	－	－
	その他				
	売建	－	－	－	－
	買建	－	－	－	－
合計		－	－	△2,332	△2,352

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、東京証券取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、金融情報ベンダーが提供する価格により算定しております。

(単位：百万円)

区分	種類	平成26年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
金融商品取引所	債券先物				
	売建	**2,027,080**	**－**	**△2,698**	**△2,698**
	買建	**1,915,076**	**－**	**4,712**	**4,712**
	債券先物オプション				
	売建	**202,297**	**－**	**△1,316**	**△575**
	買建	**235,828**	**－**	**431**	**△206**
店頭	債券先渡契約				
	売建	**51,514**	**－**	**△52**	**△52**
	買建	**74,992**	**－**	**81**	**81**
	債券店頭オプション				
	売建	**11,614**	**－**	**△41**	**△21**
	買建	**11,614**	**－**	**11**	**△25**
	その他				
	売建	**－**	**－**	**－**	**－**
	買建	**－**	**－**	**－**	**－**
合計		**－**	**－**	**1,127**	**1,214**

(注) 1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
取引所取引については、大阪取引所等における最終の価格によっております。店頭取引については、金融情報ベンダーが提供する価格により算定しております。

(5) 商品関連取引

平成25年9月末

該当ありません。

平成26年9月末

該当ありません。

デリバティブ取引関係

(6) クレジットデリバティブ取引

（単位：百万円）

区分	種類	平成25年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
店頭	クレジット・デフォルト・スワップ				
	売建	4,800	4,800	61	61
	買建	21,529	21,529	△131	△131
	その他				
	売建	－	－	－	－
	買建	－	－	－	－
合計		－	－	△70	△70

（注）1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
割引現在価値により算定しております。
3. 「売建」は信用リスクの引受取引、「買建」は信用リスクの引渡取引であります。

（単位：百万円）

区分	種類	平成26年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価	評価損益
店頭	クレジット・デフォルト・スワップ				
	売建	**41,424**	**41,424**	**864**	**864**
	買建	**50,981**	**50,981**	**△1,429**	**△1,429**
	その他				
	売建	**－**	**－**	**－**	**－**
	買建	**－**	**－**	**－**	**－**
合計		**－**	**－**	**△564**	**△564**

（注）1. 上記取引については時価評価を行い、評価損益を中間損益計算書に計上しております。
2. 時価の算定
割引現在価値により算定しております。
3. 「売建」は信用リスクの引受取引、「買建」は信用リスクの引渡取引であります。

2．ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引について、取引の対象物の種類ごと、ヘッジ会計の方法別の中間決算日における契約額又は契約において定められた元本相当額及び時価並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。なお、契約額等については、その金額自体がデリバティブ取引に係る市場リスクを示すものではありません。

(1) 金利関連取引

(単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成25年9月末		
			契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価
原則的処理方法	金利スワップ	貸出金、その他有価証券（債券）、預金、社債等の有利息の金融資産・負債			
	受取固定・支払変動		5,267,247	2,581,647	6,934
	受取変動・支払固定		710,280	661,787	△31,807
	金利先物				
	売建		－	－	－
	買建		－	－	－
	金利オプション				
	売建		－	－	－
	買建		－	－	－
	その他				
	売建		－	－	－
	買建		－	－	－
合計			－	－	△24,873

(注) 1. 主として「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号）に基づき、繰延ヘッジによっております。
2. 時価の算定
割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

(単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成26年9月末		
			契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価
原則的処理方法	金利スワップ	貸出金、その他有価証券（債券）、預金、社債等の有利息の金融資産・負債			
	受取固定・支払変動		**3,548,034**	**2,219,913**	**9,275**
	受取変動・支払固定		**664,781**	**611,881**	**△34,979**
	金利先物				
	売建		**－**	**－**	**－**
	買建		**－**	**－**	**－**
	金利オプション				
	売建		**－**	**－**	**－**
	買建		**－**	**－**	**－**
	その他				
	売建		**－**	**－**	**－**
	買建		**－**	**－**	**－**
合計			**－**	**－**	**△25,703**

(注) 1. 主として「銀行業における金融商品会計基準適用に関する会計上及び監査上の取扱い」（日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第24号）に基づき、繰延ヘッジによっております。
2. 時価の算定
割引現在価値やオプション価格計算モデル等により算定しております。

デリバティブ取引関係

(2) 通貨関連取引

(単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成25年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価
原則的処理方法	通貨スワップ	外貨建の貸出金、有価証券等	1,510,480	823,942	△214,384
	為替予約				
	売建		―	―	―
	買建		18,942	―	△116
	その他				
	売建		―	―	―
	買建		―	―	―
合計			―	―	△214,501

(注) 1. 主として「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第25号) に基づき、繰延ヘッジによっております。
2. 時価の算定
割引現在価値等により算定しております。

(単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成26年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価
原則的処理方法	通貨スワップ	外貨建の貸出金、有価証券等	**1,816,823**	**1,295,587**	**△210,956**
	為替予約				
	売建		**―**	**―**	**―**
	買建		**9,706**	**―**	**289**
	その他				
	売建		**―**	**―**	**―**
	買建		**―**	**―**	**―**
合計			**―**	**―**	**△210,667**

(注) 1. 主として「銀行業における外貨建取引等の会計処理に関する会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第25号) に基づき、繰延ヘッジによっております。
2. 時価の算定
割引現在価値等により算定しております。

(3) 株式関連取引

平成25年9月末

該当ありません。

(単位：百万円)

ヘッジ会計の方法	種類	主なヘッジ対象	平成26年9月末 契約額等	契約額等のうち1年超のもの	時価
ヘッジ対象に係る損益を認識する方法	有価証券指数等スワップ	その他有価証券(株式)			
	株価指数等変化率受取・短期変動金利支払		**―**	**―**	**―**
	短期変動金利受取・株価指数等変化率支払		**12,557**	**3,814**	**138**
合計			**―**	**―**	**138**

(注) 時価の算定
割引現在価値により算定しております。

(4) 債券関連取引

平成25年9月末

該当ありません。

平成26年9月末

該当ありません。

損益の状況

業務粗利益

（単位：百万円）

	平成25年度中間期			平成26年度中間期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
信託報酬	48,719	―	48,719	**49,418**	**―**	**49,418**
資金運用収支	89,725	11,176	100,902	**77,459**	**32,608**	**110,068**
資金運用収益	131,310	44,778	2,833 173,254	**119,122**	**61,721**	**6,867** **173,976**
資金調達費用	41,584	33,601	2,833 72,351	**41,662**	**29,113**	**6,867** **63,908**
役務取引等収支	46,931	4,206	51,138	**46,920**	**4,133**	**51,054**
役務取引等収益	80,613	6,154	86,768	**79,683**	**7,158**	**86,841**
役務取引等費用	33,681	1,948	35,630	**32,762**	**3,024**	**35,787**
特定取引収支	5,525	6,305	11,830	**9,572**	**5,496**	**15,069**
特定取引収益	5,797	6,305	12,103	**9,580**	**5,623**	**15,203**
特定取引費用	272	―	272	**7**	**126**	**134**
その他業務収支	4,308	12,464	16,773	**△2,618**	**13,379**	**10,761**
その他業務収益	7,973	21,674	29,648	**1,601**	**24,570**	**26,171**
その他業務費用	3,665	9,209	12,874	**4,219**	**11,190**	**15,409**
業務粗利益	195,210	34,153	229,364	**180,753**	**56,618**	**236,372**
業務粗利益率（%）	1.43	1.05	1.43	**1.25**	**1.14**	**1.28**
業務純益			104,574			**111,569**

（注）1. 国内業務部門は国内店の円建取引、国際業務部門は国内店の外貨建取引及び海外店の取引であります。
ただし、円建対非居住者取引、特別国際金融取引勘定分等は国際業務部門に含めております（以下の各表も同様であります）。
2. 資金調達費用は金銭の信託運用見合費用（平成25年度中間期22百万円、平成26年度中間期10百万円）を控除して表示しております。
3. 資金運用収益及び資金調達費用の合計欄の上段の計数は、平成25年度中間期は国内部門と国際部門の間の資金貸借の利息を、平成26年度中間期は同利息に、金利スワップ利息等の純額表示に伴う影響額4,250百万円を加えた金額を記載しております。下段の計数は、国内部門と国際部門の合算から上段の計数を減算した値であります。
4. 業務粗利益率＝$\frac{\text{業務粗利益}}{\text{資金運用勘定平均残高}}$×100÷期中日数×年間日数

資金運用・調達勘定平均残高、利息、利回り

（1） 国内業務部門

（単位：百万円）

	平成25年度中間期			平成26年度中間期		
	平均残高	利息	利回り	平均残高	利息	利回り
資金運用勘定（A）	(1,630,063) 27,137,508	(2,833) 131,310	0.96%	**(1,824,895)** **28,820,832**	**(6,867)** **119,122**	**0.82%**
うち貸出金	18,298,429	91,992	1.00	**18,270,130**	**87,309**	**0.95**
うち有価証券	4,279,288	34,635	1.61	**3,246,510**	**21,967**	**1.34**
うちコールローン	256,171	152	0.11	**179,368**	**112**	**0.12**
うち債券貸借取引支払保証金	230,518	126	0.10	**68,619**	**35**	**0.10**
うち買入金銭債権	157,457	508	0.64	**121,327**	**350**	**0.57**
うち預け金	1,861,973	932	0.09	**4,715,548**	**2,363**	**0.09**
資金調達勘定（B）	26,893,823	41,584	0.30	**28,359,137**	**41,662**	**0.29**
うち預金	21,038,944	32,630	0.30	**21,072,266**	**27,744**	**0.26**
うち譲渡性預金	2,306,279	1,237	0.10	**3,457,169**	**1,575**	**0.09**
うちコールマネー	10,640	5	0.09	**29,920**	**15**	**0.10**
うち売現先勘定	38	0	0	**―**	**―**	**―**
うち債券貸借取引受入担保金	57,668	21	0.07	**46,253**	**15**	**0.06**
うち借用金	857,834	3,121	0.72	**1,239,184**	**3,223**	**0.51**

（注）1. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高（平成25年度中間期477,221百万円、平成26年度中間期370,008百万円）を、資金調達勘定は金銭の信託運用見合額の平均残高（平成25年度中間期14,714百万円、平成26年度中間期7,409百万円）及び利息（平成25年度中間期22百万円、平成26年度中間期10百万円）を、それぞれ控除して表示しております。
2. 平均残高の（ ）内は、国内部門と国際部門の間の資金貸借の平均残高を記載しており、利息の（ ）内は、平成25年度中間期は国内部門と国際部門の間の資金貸借の利息、平成26年度中間期は同利息に金利スワップ利息等の純額表示に伴う影響額4,250百万円を加えた金額を記載しております。

損益の状況

資金運用・調達勘定平均残高、利息、利回り

(2) 国際業務部門

（単位：百万円）

	平成25年度中間期			平成26年度中間期		
	平均残高	利息	利回り	平均残高	利息	利回り
資金運用勘定（A）	7,750,199	44,778	1.15%	**9,712,679**	**61,721**	**1.26%**
うち貸出金	4,003,487	25,374	1.26	**5,511,446**	**36,016**	**1.30**
うち有価証券	1,568,511	15,893	2.02	**1,898,988**	**20,848**	**2.18**
うちコールローン	90,809	241	0.52	**99,442**	**456**	**0.91**
うち債券貸借取引支払保証金	247,137	―	―	**291,305**	**―**	**―**
うち買入金銭債権	9,890	59	1.19	**11,357**	**159**	**2.79**
うち預け金	1,731,258	2,625	0.30	**1,784,528**	**3,641**	**0.40**
資金調達勘定（B）	(1,630,063) 7,585,951	(2,833) 33,601	0.88	**(1,824,895)** **9,642,993**	**(6,867)** **29,113**	**0.60**
うち預金	1,946,962	4,067	0.41	**2,828,770**	**6,683**	**0.47**
うち譲渡性預金	2,186,428	2,896	0.26	**2,590,650**	**3,405**	**0.26**
うちコールマネー	222,553	834	0.74	**213,528**	**820**	**0.76**
うち売現先勘定	755,826	310	0.08	**1,154,359**	**486**	**0.08**
うち債券貸借取引受入担保金	―	―	―	**187**	**0**	**0.27**
うち借用金	406,514	5,817	2.85	**338,699**	**3,499**	**2.06**

（注）1. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高（平成25年度中間期11,319百万円、平成26年度中間期33,526百万円）を控除して表示しております。
2. 平均残高の（ ）内は、国内部門と国際部門の間の資金貸借の平均残高を記載しており、利息の（ ）内は、平成25年度中間期は国内部門と国際部門の間の資金貸借の利息、平成26年度中間期は同利息に金利スワップ利息等の純額表示に伴う影響額4,250百万円を加えた金額を記載しております。
3. 国際業務部門の国内店外貨建取引の平均残高は日次カレント方式（日々のTT仲値を当日のノンエクスチェンジ取引に適用する方式）により算出しております。
4. 従来、海外中央銀行預け金について、預け金の平均残高に含めずに利回りを計算しておりましたが、平成25年度より有利息の海外中央銀行預け金について、預け金の平均残高に含めて利回りを計算しております。この変更により平成25年度中間期の平均残高、利回りを再計算しており、国際部門の資金運用勘定及び預け金の平均残高は、1,307,063百万円増加、利回りはそれぞれ0.23%、0.93%減少しております。また、無利息預け金の平均残高については1,307,063百万円減少しております。

(3) 合計

（単位：百万円）

	平成25年度中間期			平成26年度中間期		
	平均残高	利息	利回り	平均残高	利息	利回り
資金運用勘定（A）	33,257,644	173,254	1.03%	**36,708,616**	**173,976**	**0.94%**
うち貸出金	22,301,917	117,367	1.04	**23,781,577**	**123,326**	**1.03**
うち有価証券	5,847,799	50,528	1.72	**5,145,498**	**42,816**	**1.65**
うちコールローン	346,980	393	0.22	**278,811**	**568**	**0.40**
うち債券貸借取引支払保証金	477,655	126	0.05	**359,925**	**35**	**0.01**
うち買入金銭債権	167,347	567	0.67	**132,685**	**509**	**0.76**
うち預け金	3,593,232	3,557	0.19	**6,500,076**	**6,004**	**0.18**
資金調達勘定（B）	32,849,711	72,351	0.43	**36,177,236**	**63,908**	**0.35**
うち預金	22,985,907	36,698	0.31	**23,901,037**	**34,427**	**0.28**
うち譲渡性預金	4,492,708	4,133	0.18	**6,047,820**	**4,980**	**0.16**
うちコールマネー	233,194	839	0.71	**243,449**	**835**	**0.68**
うち売現先勘定	755,865	310	0.08	**1,154,359**	**486**	**0.08**
うち債券貸借取引受入担保金	57,668	21	0.07	**46,441**	**15**	**0.06**
うち借用金	1,264,349	8,938	1.41	**1,577,884**	**6,723**	**0.84**

（注）1. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高（平成25年度中間期488,540百万円、平成26年度中間期403,535百万円）を、資金調達勘定は金銭の信託運用見合額の平均残高（平成25年度中間期14,714百万円、平成26年度中間期7,409百万円）及び利息（平成25年度中間期22百万円、平成26年度中間期10百万円）を、それぞれ控除して表示しております。
2. 国内部門と国際部門の間の資金貸借の平均残高及び利息並びに金利スワップ利息等は、相殺して記載しております。
3. 従来、海外中央銀行預け金について、預け金の平均残高に含めずに利回りを計算しておりましたが、平成25年度より有利息の海外中央銀行預け金について、預け金の平均残高に含めて利回りを計算しております。この変更により平成25年度中間期の平均残高、利回りを再計算しており、全店分の資金運用勘定及び預け金の平均残高は、1,307,063百万円増加、利回りはそれぞれ0.05%、0.12%減少しております。また、無利息預け金の平均残高については1,307,063百万円減少しております。

利鞘

（単位：%）

	平成25年度中間期			平成26年度中間期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
資金運用利回り（A）	0.96	1.15	1.03	**0.82**	**1.26**	**0.94**
資金調達利回り（B）	0.30	0.88	0.43	**0.29**	**0.60**	**0.35**
資金粗利鞘（A）－（B）	0.66	0.27	0.60	**0.53**	**0.66**	**0.59**

（注）従来、海外中央銀行預け金について、預け金の平均残高に含めずに利回りを計算しておりましたが、平成25年度より有利息の海外中央銀行預け金について、預け金の平均残高に含めて利回りを計算しております。この変更により平成25年度中間期の資金運用利回り及び資金粗利鞘は、国際部門で0.23%減少、合計で0.05%減少しております。

受取・支払利息の分析

(1) 国内業務部門

(単位：百万円)

	平成25年度中間期			平成26年度中間期		
	残高による増減	利率による増減	純増減	残高による増減	利率による増減	純増減
受取利息	5,993	△19,149	△13,155	**6,957**	**△19,145**	**△12,187**
うち貸出金	1,641	△10,063	△8,422	**△135**	**△4,547**	**△4,683**
うち有価証券	△10,725	12,230	1,505	**△6,988**	**△5,679**	**△12,668**
うちコールローン	60	2	62	**△48**	**8**	**△39**
うち債券貸借取引支払保証金	△35	△0	△36	**△84**	**△5**	**△90**
うち買入金銭債権	△195	△124	△319	**△104**	**△53**	**△158**
うち預け金	929	△152	777	**1,430**	**0**	**1,431**
支払利息	2,156	△10,896	△8,740	**2,152**	**△2,074**	**78**
うち預金	446	△3,382	△2,935	**43**	**△4,930**	**△4,886**
うち譲渡性預金	201	△350	△149	**524**	**△186**	**337**
うちコールマネー	2	0	2	**9**	**0**	**9**
うち売現先勘定	△0	―	△0	**―**	**―**	**―**
うち債券貸借取引受入担保金	12	△4	8	**△3**	**△1**	**△5**
うち借用金	691	△1,300	△609	**992**	**△889**	**102**

(注) 残高及び利率の増減要因が重なる部分については、残高による増減に含めて表示しております。

(2) 国際業務部門

(単位：百万円)

	平成25年度中間期			平成26年度中間期		
	残高による増減	利率による増減	純増減	残高による増減	利率による増減	純増減
受取利息	16,374	△489	15,885	**12,470**	**4,471**	**16,942**
うち貸出金	10,399	△1,246	9,152	**9,854**	**787**	**10,641**
うち有価証券	790	△689	100	**3,628**	**1,327**	**4,955**
うちコールローン	145	37	182	**39**	**175**	**215**
うち債券貸借取引支払保証金	―	―	―	**―**	**―**	**―**
うち買入金銭債権	59	―	59	**20**	**79**	**100**
うち預け金	1,422	△643	779	**108**	**907**	**1,016**
支払利息	11,261	4,526	15,787	**6,210**	**△10,698**	**△4,488**
うち預金	2,073	△837	1,236	**2,083**	**531**	**2,615**
うち譲渡性預金	887	△1,184	△297	**531**	**△22**	**509**
うちコールマネー	462	△3	458	**△34**	**20**	**△13**
うち売現先勘定	124	△256	△131	**167**	**7**	**175**
うち債券貸借取引受入担保金	△51	―	△51	**0**	**―**	**0**
うち借用金	443	△841	△397	**△700**	**△1,616**	**△2,317**

(注) 1. 残高及び利率の増減要因が重なる部分については、残高による増減に含めて表示しております。
2. 従来、海外中央銀行預け金について、預け金の平均残高に含めずに利回りを計算しておりましたが、平成25年度より有利息の海外中央銀行預け金について、預け金の平均残高に含めて利回りを計算しております。この変更により平成25年度中間期の残高による増減、利率による増減を再計算しており、国際部門の受取利息の純増減のうち、残高による増減は2,078百万円増加、利率による増減は2,078百万円減少し、預け金の純増減のうち、残高による増減は423百万円増加、利率による増減は423百万円減少しております。

(3) 合計

(単位：百万円)

	平成25年度中間期			平成26年度中間期		
	残高による増減	利率による増減	純増減	残高による増減	利率による増減	純増減
受取利息	20,598	△17,794	2,803	**16,355**	**△15,633**	**721**
うち貸出金	10,352	△9,623	729	**7,673**	**△1,714**	**5,958**
うち有価証券	△10,776	12,382	1,606	**△5,843**	**△1,868**	**△7,712**
うちコールローン	176	69	245	**△139**	**314**	**175**
うち債券貸借取引支払保証金	11	△48	△36	**△11**	**△78**	**△90**
うち買入金銭債権	△171	△88	△260	**△133**	**75**	**△58**
うち預け金	2,767	△1,210	1,556	**2,685**	**△238**	**2,447**
支払利息	8,409	△1,288	7,120	**5,878**	**△14,321**	**△8,443**
うち預金	2,044	△3,744	△1,699	**1,318**	**△3,589**	**△2,270**
うち譲渡性預金	962	△1,408	△446	**1,280**	**△433**	**847**
うちコールマネー	458	2	461	**35**	**△39**	**△4**
うち売現先勘定	124	△256	△132	**167**	**7**	**175**
うち債券貸借取引受入担保金	4	△47	△43	**△3**	**△1**	**△5**
うち借用金	1,562	△2,568	△1,006	**1,336**	**△3,550**	**△2,214**

(注) 1. 残高及び利率の増減要因が重なる部分については、残高による増減に含めて表示しております。
2. 従来、海外中央銀行預け金について、預け金の平均残高に含めずに利回りを計算しておりましたが、平成25年度より有利息の海外中央銀行預け金について、預け金の平均残高に含めて利回りを計算しております。この変更により平成25年度中間期の残高による増減、利率による増減を再計算しており、全店分の受取利息の純増減のうち、残高による増減は3,370百万円増加、利率による増減は3,370百万円減少し、預け金の純増減のうち、残高による増減は373百万円減少、利率による増減は373百万円増加しております。

損益の状況

役務取引の状況

（単位：百万円）

	平成25年度中間期			平成26年度中間期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
役務取引等収益	80,613	6,154	86,768	**79,683**	**7,158**	**86,841**
うち信託関連業務	33,661	123	33,784	**30,977**	**141**	**31,118**
うち預金・貸出業務	13,360	5,072	18,433	**12,500**	**5,872**	**18,372**
うち為替業務	663	134	798	**645**	**115**	**760**
うち証券関連業務	25,772	165	25,937	**25,076**	**146**	**25,222**
うち代理業務	5,339	－	5,339	**7,507**	**－**	**7,507**
うち保護預り・貸金庫業務	140	－	140	**550**	**－**	**550**
うち保証業務	399	260	660	**390**	**191**	**581**
役務取引等費用	33,681	1,948	35,630	**32,762**	**3,024**	**35,787**
うち為替業務	354	53	407	**348**	**104**	**452**

特定取引の状況

（単位：百万円）

	平成25年度中間期			平成26年度中間期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
特定取引収益	5,797	6,305	12,103	**9,580**	**5,623**	**15,203**
うち商品有価証券収益	－	－	－	**501**	**－**	**501**
うち特定取引有価証券収益	△273	321	48	**－**	**－**	**－**
うち特定金融派生商品収益	5,842	5,983	11,826	**8,873**	**5,623**	**14,496**
うちその他の特定取引収益	228	－	228	**205**	**－**	**205**
特定取引費用	272	－	272	**7**	**126**	**134**
うち商品有価証券費用	272	－	272	**－**	**－**	**－**
うち特定取引有価証券費用	－	－	－	**7**	**126**	**134**
うち特定金融派生商品費用	－	－	－	**－**	**－**	**－**
うちその他の特定取引費用	－	－	－	**－**	**－**	**－**

（注）内訳科目はそれぞれの収益と費用を相殺し、収益が上回った場合には収益欄に、費用が上回った場合には費用欄に、上回った純額を計上しております。

その他業務利益の内訳

（単位：百万円）

	平成25年度中間期			平成26年度中間期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
外国為替売買損益	－	△2,668	△2,668	**－**	**856**	**856**
国債等債券売却損益	△762	10,647	9,884	**526**	**20,067**	**20,594**
その他	5,071	4,485	9,557	**△3,145**	**△7,543**	**△10,688**
合計	4,308	12,464	16,773	**△2,618**	**13,379**	**10,761**

営業経費の内訳

（単位：百万円）

	平成25年度中間期	平成26年度中間期
給料・手当	48,892	**50,819**
退職給付費用	6,715	**4,856**
福利厚生費	8,253	**8,565**
減価償却費	12,792	**12,676**
土地建物機械賃借料	9,456	**9,492**
営繕費	286	**273**
消耗品費	1,209	**1,093**
給水光熱費	1,136	**1,125**
旅費	810	**837**
通信費	2,841	**2,746**
広告宣伝費	1,567	**1,644**
租税公課	5,193	**5,419**
その他	35,189	**34,254**
合計	134,345	**133,805**

利益率

（単位：%）

		平成25年度中間期	平成26年度中間期
総資産利益率	経常利益率	0.51	**0.61**
	中間純利益率	0.31	**0.35**
資本利益率	経常利益率	9.64	**11.74**
	中間純利益率	5.90	**6.70**

（注）1. 総資産利益率＝$\frac{\text{利益}}{\text{総資産（除く支払承諾見返）平均残高}}$×100÷期中日数×年間日数

2. 資本利益率＝$\frac{\text{利益－優先株式配当金額}}{\text{[(期首自己資本－期首の控除する金額＊）＋（期末自己資本－期末の控除する金額＊)]÷2}}$×100÷期中日数×年間日数

＊優先株式発行金額及び優先株式配当金額

銀行業務の状況

預金

(1) 中間期末残高

（単位：百万円、%）

	平成25年9月末			平成26年9月末		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
流動性預金	4,196,793 (17.3)	7,886 (0.2)	4,204,680 (14.7)	**4,702,471** **(19.2)**	**10,190** **(0.2)**	**4,712,662** **(15.5)**
うち有利息預金	3,428,229 (14.2)	2,519 (0.1)	3,430,748 (12.0)	**3,814,625** **(15.5)**	**7,538** **(0.1)**	**3,822,163** **(12.5)**
定期性預金	17,155,612 (70.8)	1,354,283 (31.5)	18,509,896 (64.9)	**16,337,450** **(66.6)**	**1,914,378** **(32.2)**	**18,251,829** **(59.9)**
うち固定金利定期預金	16,584,687 (68.5)	1,354,165 (31.5)	17,938,853 (62.9)	**15,766,389** **(64.3)**	**1,914,269** **(32.2)**	**17,680,658** **(58.0)**
うち変動金利定期預金	570,925 (2.4)	117 (0.0)	571,042 (2.0)	**571,060** **(2.3)**	**109** **(0.0)**	**571,170** **(1.9)**
その他の預金	112,084 (0.5)	788,703 (18.3)	900,787 (3.2)	**120,103** **(0.5)**	**802,579** **(13.5)**	**922,683** **(3.0)**
小計	21,464,490 (88.6)	2,150,873 (50.0)	23,615,364 (82.8)	**21,160,024** **(86.2)**	**2,727,149** **(45.8)**	**23,887,174** **(78.4)**
譲渡性預金	2,755,102 (11.4)	2,153,989 (50.0)	4,909,091 (17.2)	**3,373,871** **(13.8)**	**3,224,406** **(54.2)**	**6,598,278** **(21.6)**
合計	24,219,593	4,304,862	28,524,455	**24,533,896**	**5,951,556**	**30,485,452**

(注) 1. （ ）内は構成比であります。
2. 流動性預金とは、当座預金、普通預金、貯蓄預金及び通知預金の合計であります。
3. 固定金利定期預金とは、預入時に満期日迄の利率が確定する定期預金であります。
4. 変動金利定期預金とは、預入期間中の市場金利の変化に応じて金利が変動する定期預金であります。

(2) 平均残高

（単位：百万円、%）

	平成25年度中間期			平成26年度中間期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
流動性預金	4,056,320 (17.4)	6,374 (0.2)	4,062,694 (14.8)	**4,339,196** **(17.7)**	**7,568** **(0.1)**	**4,346,765** **(14.5)**
うち有利息預金	3,429,932 (14.7)	3,190 (0.1)	3,433,123 (12.5)	**3,671,270** **(15.0)**	**4,480** **(0.1)**	**3,675,751** **(12.3)**
定期性預金	16,913,148 (72.4)	1,135,062 (27.5)	18,048,210 (65.7)	**16,658,484** **(67.9)**	**1,912,463** **(35.3)**	**18,570,948** **(62.0)**
うち固定金利定期預金	16,339,156 (70.0)	1,134,964 (27.5)	17,474,120 (63.6)	**16,087,648** **(65.6)**	**1,912,354** **(35.3)**	**18,000,002** **(60.1)**
うち変動金利定期預金	573,992 (2.5)	98 (0.0)	574,090 (2.1)	**570,836** **(2.3)**	**109** **(0.0)**	**570,946** **(1.9)**
その他の預金	69,475 (0.3)	805,525 (19.5)	875,001 (3.2)	**74,585** **(0.3)**	**908,738** **(16.8)**	**983,323** **(3.3)**
小計	21,038,944 (90.1)	1,946,962 (47.1)	22,985,907 (83.7)	**21,072,266** **(85.9)**	**2,828,770** **(52.2)**	**23,901,037** **(79.8)**
譲渡性預金	2,306,279 (9.9)	2,186,428 (52.9)	4,492,708 (16.3)	**3,457,169** **(14.1)**	**2,590,650** **(47.8)**	**6,047,820** **(20.2)**
合計	23,345,224	4,133,390	27,478,615	**24,529,436**	**5,419,421**	**29,948,857**

(注) 1. （ ）内は構成比であります。
2. 流動性預金とは、当座預金、普通預金、貯蓄預金及び通知預金の合計であります。
3. 固定金利定期預金とは、預入時に満期日迄の利率が確定する定期預金であります。
4. 変動金利定期預金とは、預入期間中の市場金利の変化に応じて金利が変動する定期預金であります。

(3) 定期預金の残存期間別残高

(単位：百万円)

	平成25年9月末			平成26年9月末		
	定期預金	うち固定金利定期預金	うち変動金利定期預金	定期預金	うち固定金利定期預金	うち変動金利定期預金
3ヵ月未満	3,861,951	3,840,689	21,262	**4,809,278**	**4,784,819**	**24,458**
3ヵ月以上6ヵ月未満	2,067,783	2,049,863	17,920	**2,236,369**	**2,204,885**	**31,483**
6ヵ月以上1年未満	3,778,365	3,733,218	45,146	**2,832,322**	**2,756,027**	**76,294**
1年以上2年未満	4,940,240	4,801,929	138,311	**4,426,351**	**4,267,456**	**158,894**
2年以上3年未満	1,537,844	1,383,828	154,015	**1,548,771**	**1,441,880**	**106,891**
3年以上	2,323,711	2,129,324	194,386	**2,398,736**	**2,225,589**	**173,146**
合計	18,509,896	17,938,853	571,042	**18,251,829**	**17,680,658**	**571,170**

(4) 預金者別残高

(単位：百万円、%)

	平成25年9月末	平成26年9月末
個人	16,358,312 (74.4)	**16,198,267** **(74.1)**
法人	4,101,433 (18.6)	**4,309,304** **(19.7)**
その他	1,539,423 (7.0)	**1,342,700** **(6.2)**
合計	21,999,170 (100.0)	**21,850,272** **(100.0)**

(注) 1. ( ) 内は構成比であります。
2. 本表の預金には、海外支店分、特別国際金融取引勘定分及び譲渡性預金を含んでおりません。

(5) 預金利回り

(単位：%)

	平成25年度中間期	平成26年度中間期
国内業務部門	0.28	**0.23**
国際業務部門	0.33	**0.37**
合計	0.29	**0.26**

(注) 譲渡性預金を含んでおります。

(6) 1店舗当たり及び従業員1人当たりの預金残高

(単位：百万円)

	平成25年9月末			平成26年9月末		
	国内店	海外店	全店計	国内店	海外店	全店計
1店舗当たり預金残高	211,934	703,238	231,906	**209,391**	**1,029,809**	**241,948**
従業員1人当たり預金残高	2,470	7,677	2,696	**2,512**	**9,517**	**2,868**

(注) 1. 預金には譲渡性預金を含んでおります。
2. 店舗数には出張所を含んでおりません。
3. 従業員数は期中平均人員を使用しております。なお、国内店の従業員数には本部人員を含んでおります。

銀行業務の状況

貸出金

(1) 中間期末残高

（単位：百万円、%）

	平成25年9月末			平成26年9月末		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
手形貸付	117,126 (0.6)	191,195 (4.5)	308,321 (1.3)	**85,203** **(0.5)**	**211,318** **(3.6)**	**296,521** **(1.2)**
証書貸付	16,330,754 (87.4)	4,073,404 (95.5)	20,404,158 (88.9)	**16,196,421** **(86.6)**	**5,710,089** **(96.4)**	**21,906,511** **(89.0)**
当座貸越	2,245,214 (12.0)	－ (－)	2,245,214 (9.8)	**2,415,186** **(12.9)**	**－** **(－)**	**2,415,186** **(9.8)**
割引手形	3,648 (0.0)	－ (－)	3,648 (0.0)	**3,202** **(0.0)**	**－** **(－)**	**3,202** **(0.0)**
合計	18,696,744 (100.0)	4,264,599 (100.0)	22,961,343 (100.0)	**18,700,014** **(100.0)**	**5,921,407** **(100.0)**	**24,621,421** **(100.0)**

(注)（ ）内は構成比であります。

(2) 平均残高

（単位：百万円、%）

	平成25年度中間期			平成26年度中間期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
手形貸付	111,499 (0.6)	219,909 (5.5)	331,409 (1.5)	**97,957** **(0.5)**	**237,586** **(4.3)**	**335,543** **(1.4)**
証書貸付	16,245,207 (88.8)	3,783,578 (94.5)	20,028,786 (89.8)	**16,197,280** **(88.7)**	**5,273,859** **(95.7)**	**21,471,139** **(90.3)**
当座貸越	1,938,291 (10.6)	－ (－)	1,938,291 (8.7)	**1,972,042** **(10.8)**	**－** **(－)**	**1,972,042** **(8.3)**
割引手形	3,429 (0.0)	－ (－)	3,429 (0.0)	**2,851** **(0.0)**	**－** **(－)**	**2,851** **(0.0)**
合計	18,298,429 (100.0)	4,003,487 (100.0)	22,301,917 (100.0)	**18,270,130** **(100.0)**	**5,511,446** **(100.0)**	**23,781,577** **(100.0)**

(注)（ ）内は構成比であります。

(3) 貸出金の残存期間別残高

（単位：百万円）

	平成25年9月末			平成26年9月末		
	貸出金	変動金利	固定金利	貸出金	変動金利	固定金利
1年以下	4,176,827			**3,888,454**		
1年超3年以下	4,561,331	3,439,602	1,121,728	**5,041,829**	**3,888,342**	**1,153,487**
3年超5年以下	3,758,525	3,118,417	640,108	**3,682,161**	**2,891,854**	**790,307**
5年超7年以下	2,105,223	1,775,515	329,708	**2,820,691**	**2,458,635**	**362,056**
7年超	5,918,227	4,884,565	1,033,662	**6,701,338**	**5,268,365**	**1,432,973**
期間の定めのないもの	2,441,207	2,441,207	－	**2,486,945**	**2,483,786**	**3,159**
合計	22,961,343			**24,621,421**		

(注) 残存期間1年以下の貸出金については、固定金利、変動金利の区別をしておりません。

(4) 中小企業等に対する貸出状況

(単位：百万円)

	平成25年9月末		平成26年9月末	
	貸出先数	金額	貸出先数	金額
総貸出金残高（A）	424,845件	20,714,228	**439,599件**	**21,362,085**
中小企業等に対する貸出金残高（B）	422,986	11,747,285	**438,008**	**12,136,757**
(B)/(A)	99.5%	56.7%	**99.6%**	**56.8%**

(注) 1. 中小企業等とは、資本金3億円（ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円）以下の会社又は常用する従業員が300人（ただし、卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人）以下の企業等であります。
2. 本表の貸出金には、海外支店及び特別国際金融取引勘定貸出分を含んでおりません。

(5) 消費者ローン残高

(単位：百万円)

	平成25年9月末	平成26年9月末
消費者ローン残高	7,000,294	**7,384,994**
住宅ローン残高	6,570,536	**6,907,789**
その他ローン残高	429,758	**477,204**

(6) 業種別貸出状況

(単位：百万円)

	平成25年9月末		平成26年9月末	
	貸出金残高	構成比	貸出金残高	構成比
国内店分（除く特別国際金融取引勘定分）	20,714,228	100.0%	**21,362,085**	**100.0%**
製造業	2,830,530	13.7	**2,601,028**	**12.2**
農業、林業	2,837	0.0	**2,582**	**0.0**
鉱業、採石業、砂利採取業	13,744	0.1	**14,344**	**0.1**
建設業	158,841	0.8	**139,450**	**0.7**
電気・ガス・熱供給・水道業	867,670	4.2	**878,325**	**4.1**
情報通信業	285,835	1.4	**323,221**	**1.5**
運輸業、郵便業	1,190,974	5.7	**1,141,368**	**5.3**
卸売業、小売業	1,223,371	5.9	**1,248,089**	**5.8**
金融業、保険業	2,260,498	10.9	**2,557,420**	**12.0**
不動産業	2,670,892	12.9	**2,662,963**	**12.5**
物品賃貸業	675,452	3.3	**676,604**	**3.2**
地方公共団体	73,688	0.3	**69,316**	**0.3**
その他	8,459,892	40.8	**9,047,370**	**42.3**
海外店分及び特別国際金融取引勘定分	2,247,115	100.0%	**3,259,335**	**100.0%**
政府等	6,589	0.3	**1,325**	**0.0**
金融機関	223,360	9.9	**365,149**	**11.2**
その他	2,017,165	89.8	**2,892,860**	**88.8**
合計	22,961,343		**24,621,421**	

(7) 貸出金使途別残高

(単位：百万円、%)

	平成25年9月末	平成26年9月末
設備資金	10,706,945 (46.6)	**11,469,667** **(46.6)**
運転資金	12,254,397 (53.4)	**13,151,754** **(53.4)**
合計	22,961,343 (100.0)	**24,621,421** **(100.0)**

(注) (　) 内は構成比であります。

銀行業務の状況

貸出金

(8) 貸出金の担保別内訳

(単位：百万円)

	平成25年9月末	平成26年9月末
有価証券	213,177	**310,617**
債権	170,998	**255,501**
土地建物	1,351,441	**1,362,831**
工場	7,257	**15,971**
財団	207,150	**198,012**
船舶	714,401	**807,961**
その他	417,719	**412,272**
小計	3,082,146	**3,363,169**
保証	7,841,480	**8,157,952**
信用	12,037,716	**13,100,299**
合計	22,961,343	**24,621,421**

(9) 支払承諾見返の担保別内訳

(単位：百万円)

	平成25年9月末	平成26年9月末
有価証券	56	**97**
債権	210	**210**
土地建物	1,293	**1,322**
その他	201	**4,186**
小計	1,761	**5,815**
保証	19,058	**11,282**
信用	307,913	**333,569**
合計	328,733	**350,668**

(10) 貸出金利回り

(単位：%)

	平成25年度中間期	平成26年度中間期
国内業務部門	1.00	**0.95**
国際業務部門	1.26	**1.30**
合計	1.04	**1.03**

(11) 預貸率

(単位：%)

	平成25年度中間期			平成26年度中間期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
預貸率（末残）	77.19	99.06	80.49	**76.22**	**99.49**	**80.76**
預貸率（平残）	78.38	96.85	81.16	**74.48**	**101.69**	**79.40**

(注) 預貸率＝$\frac{\text{貸出金}}{\text{預金＋譲渡性預金}}$

(12) 1店舗当たり及び従業員1人当たりの貸出金残高

(単位：百万円)

	平成25年9月末			平成26年9月末		
	国内店	海外店	全店計	国内店	海外店	全店計
1店舗当たりの貸出金残高	175,556	449,142	186,677	**176,555**	**651,651**	**195,408**
従業員1人当たりの貸出金残高	2,046	4,903	2,170	**2,118**	**6,022**	**2,316**

(注) 1. 店舗数には出張所を含んでおりません。
2. 従業員数は期中平均人員を使用しています。なお、国内店の従業員数には本部人員を含んでおります。

(13) 特定海外債権残高

該当ありません。

有価証券

(1) 中間期末残高

(単位：百万円、%)

	平成25年9月末			平成26年9月末		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
国債	1,810,835 (42.6)	－ (－)	1,810,835 (30.6)	**1,033,080** **(29.1)**	**－** **(－)**	**1,033,080** **(18.9)**
地方債	11,976 (0.3)	－ (－)	11,976 (0.2)	**12,970** **(0.4)**	**－** **(－)**	**12,970** **(0.2)**
短期社債	－ (－)	－ (－)	－ (－)	**－** **(－)**	**－** **(－)**	**－** **(－)**
社債	625,844 (14.8)	－ (－)	625,844 (10.6)	**589,029** **(16.6)**	**－** **(－)**	**589,029** **(10.8)**
株式	1,554,872 (36.7)	－ (－)	1,554,872 (26.3)	**1,658,206** **(46.6)**	**－** **(－)**	**1,658,206** **(30.3)**
その他の証券	238,654 (5.6)	1,668,681 (100.0)	1,907,336 (32.3)	**261,136** **(7.3)**	**1,918,970** **(100.0)**	**2,180,106** **(39.8)**
うち外国債券	－ (－)	1,530,793 (91.7)	1,530,793 (25.9)	**－** **(－)**	**1,769,960** **(92.2)**	**1,769,960** **(32.3)**
うち外国株式	－ (－)	54,706 (3.3)	54,706 (0.9)	**－** **(－)**	**57,695** **(3.0)**	**57,695** **(1.1)**
合計	4,242,182 (100.0)	1,668,681 (100.0)	5,910,864 (100.0)	**3,554,423** **(100.0)**	**1,918,970** **(100.0)**	**5,473,393** **(100.0)**

(注)（ ）内は構成比であります。

(2) 平均残高

(単位：百万円、%)

	平成25年度中間期			平成26年度中間期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
国債	2,112,032 (49.3)	－ (－)	2,112,032 (36.1)	**1,263,498** **(38.9)**	**－** **(－)**	**1,263,498** **(24.6)**
地方債	15,750 (0.4)	－ (－)	15,750 (0.3)	**12,407** **(0.4)**	**－** **(－)**	**12,407** **(0.2)**
短期社債	－ (－)	－ (－)	－ (－)	**－** **(－)**	**－** **(－)**	**－** **(－)**
社債	639,941 (15.0)	－ (－)	639,941 (10.9)	**609,489** **(18.8)**	**－** **(－)**	**609,489** **(11.8)**
株式	1,167,180 (27.3)	－ (－)	1,167,180 (20.0)	**1,127,040** **(34.7)**	**－** **(－)**	**1,127,040** **(21.9)**
その他の証券	344,383 (8.0)	1,568,511 (100.0)	1,912,894 (32.7)	**234,073** **(7.2)**	**1,898,988** **(100.0)**	**2,133,062** **(41.5)**
うち外国債券	－ (－)	1,444,824 (92.1)	1,444,824 (24.7)	**－** **(－)**	**1,759,933** **(92.7)**	**1,759,933** **(34.2)**
うち外国株式	－ (－)	55,251 (3.5)	55,251 (0.9)	**－** **(－)**	**55,222** **(2.9)**	**55,222** **(1.1)**
合計	4,279,288 (100.0)	1,568,511 (100.0)	5,847,799 (100.0)	**3,246,510** **(100.0)**	**1,898,988** **(100.0)**	**5,145,498** **(100.0)**

(注)（ ）内は構成比であります。

銀行業務の状況

有価証券

(3) 預証率

（単位：%）

	平成25年度中間期			平成26年度中間期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
預証率（末残）	17.51	38.76	20.72	**14.48**	**32.24**	**17.95**
預証率（平残）	18.33	37.94	21.28	**13.23**	**35.04**	**17.18**

（注）預証率＝$\frac{\text{有価証券}}{\text{預金＋譲渡性預金}}$

(4) 有価証券残存期間別残高

（単位：百万円）

	平成25年9月末							
	国債	地方債	短期社債	社債	株式	その他の証券	（うち外国債券）	（うち外国株式）
1年以下	1,229,802	140	—	107,526	—	141,502	135,052	—
1年超3年以下	318,910	3,350	—	196,387	—	399,342	385,659	—
3年超5年以下	45,587	2,309	—	182,323	—	304,722	161,149	—
5年超7年以下	—	1,855	—	53,438	—	115,694	114,644	—
7年超10年以下	6,076	4,321	—	46,897	—	675,749	645,388	—
10年超	210,457	—	—	39,271	—	102,877	88,897	—
期間の定めのないもの	—	—	—	—	1,554,872	167,446	—	54,706
合計	1,810,835	11,976	—	625,844	1,554,872	1,907,336	1,530,793	54,706

（単位：百万円）

	平成26年9月末							
	国債	地方債	短期社債	社債	株式	その他の証券	（うち外国債券）	（うち外国株式）
1年以下	**769,083**	**1,677**	**—**	**105,865**	**—**	**184,583**	**180,746**	**—**
1年超3年以下	**91,509**	**1,781**	**—**	**133,009**	**—**	**391,632**	**312,740**	**—**
3年超5年以下	**4,002**	**3,566**	**—**	**215,298**	**—**	**169,550**	**83,049**	**—**
5年超7年以下	**10,575**	**2,814**	**—**	**102,825**	**—**	**231,191**	**208,835**	**—**
7年超10年以下	**—**	**3,131**	**—**	**23,706**	**—**	**849,038**	**819,674**	**—**
10年超	**157,909**	**—**	**—**	**8,324**	**—**	**176,698**	**164,913**	**—**
期間の定めのないもの	**—**	**—**	**—**	**—**	**1,658,206**	**177,412**	**—**	**57,695**
合計	**1,033,080**	**12,970**	**—**	**589,029**	**1,658,206**	**2,180,106**	**1,769,960**	**57,695**

その他の業務

(1) 内国為替取扱高

（単位：千口、百万円）

		平成25年度中間期		平成26年度中間期	
		口数	金額	口数	金額
送金為替	各地へ向けた分	3,431	19,931,278	**3,765**	**24,079,263**
	各地より受けた分	1,784	23,987,910	**1,836**	**25,352,042**
代金取立	各地へ向けた分	67	385,324	**68**	**239,848**
	各地より受けた分	65	223,098	**64**	**206,734**
合計		5,349	44,527,612	**5,734**	**49,877,889**

（注）本支店間の為替取引に係る口数・金額を含めておりません。

(2) 外国為替取扱高

（単位：口、百万米ドル）

		平成25年度中間期		平成26年度中間期	
		口数	金額	口数	金額
仕向為替	売渡為替	246,552	150,424	**192,534**	**200,956**
	買入為替	317,963	110,761	**239,155**	**112,876**
被仕向為替	支払為替	11,329	27,175	**12,828**	**75,130**
	取立為替	25	362	**19**	**220**
合計		575,869	288,722	**444,536**	**389,183**

(3) 公共債引受実績

（単位：百万円）

	平成25年度中間期	平成26年度中間期
国債	－	**－**
地方債・政府保証債	13,351	**11,265**
合計	13,351	**11,265**

信託業務の状況

信託財産残高表（資産）

（単位：百万円）

科目	平成25年度中間期（平成25年9月30日）	平成26年度中間期（平成26年9月30日）
貸出金	479,720	**665,193**
有価証券	960,545	**1,322,517**
信託受益権	103,448,217	**110,420,662**
受託有価証券	59,902	**36,558**
金銭債権	10,303,964	**10,894,517**
有形固定資産	9,848,746	**10,578,420**
無形固定資産	79,075	**131,359**
その他債権	6,718,213	**7,637,696**
コールローン	24,200	**22,200**
銀行勘定貸	1,336,449	**1,487,632**
現金預け金	403,878	**468,104**
合計	133,662,914	**143,664,863**

信託財産残高表（負債）

（単位：百万円）

科目	平成25年度中間期（平成25年9月30日）	平成26年度中間期（平成26年9月30日）
金銭信託	21,159,137	**23,418,054**
年金信託	15,467,758	**16,430,911**
財産形成給付信託	20,244	**18,516**
貸付信託	52,232	**15,384**
投資信託	42,861,726	**45,994,844**
金銭信託以外の金銭の信託	4,627,909	**5,828,529**
有価証券の信託	21,906,445	**22,463,473**
金銭債権の信託	10,414,790	**11,045,175**
土地及びその定着物の信託	113,923	**115,366**
包括信託	17,038,746	**18,334,606**
合計	133,662,914	**143,664,863**

（注）1. 上記残高表には、金銭評価の困難な信託を除いております。
2. 「信託受益権」に含まれる資産管理を目的として再信託を行っている金額　平成25年9月30日現在103,283,012百万円、平成26年9月30日現在110,206,588百万円
3. 共同信託他社管理財産　平成25年9月30日現在866,444百万円、平成26年9月30日現在766,425百万円
4. 元本補てん契約のある信託の貸出金　平成25年9月30日現在107,793百万円のうち、延滞債権額は24,989百万円、貸出条件緩和債権額は316百万円、以上合計額は25,306百万円であります。
なお、破綻先債権、3ヵ月以上延滞債権はありません。
5. 元本補てん契約のある信託の貸出金　平成26年9月30日現在73,626百万円のうち、延滞債権額は16,164百万円、貸出条件緩和債権額は1,068百万円、以上合計額は17,232百万円であります。
なお、破綻先債権、3ヵ月以上延滞債権はありません。

元本補てん契約のある信託（信託財産の運用のため再信託された信託を含む）の内訳

(1) 金銭信託

資産

（単位：百万円）

種類	平成25年度中間期（平成25年9月30日）	平成26年度中間期（平成26年9月30日）
貸出金	107,793	**73,626**
有価証券	30	**30**
その他	1,220,255	**1,377,857**
合計	1,328,078	**1,451,514**

負債

（単位：百万円）

種類	平成25年度中間期（平成25年9月30日）	平成26年度中間期（平成26年9月30日）
元本	1,327,005	**1,450,973**
債権償却準備金	82	**85**
その他	991	**455**
合計	1,328,078	**1,451,514**

(2) 貸付信託

資産

（単位：百万円）

種類	平成25年度中間期（平成25年9月30日）	平成26年度中間期（平成26年9月30日）
貸出金	－	**－**
有価証券	－	**－**
その他	52,232	**15,384**
合計	52,232	**15,384**

負債

（単位：百万円）

種類	平成25年度中間期（平成25年9月30日）	平成26年度中間期（平成26年9月30日）
元本	51,202	**14,761**
特別留保金	392	**153**
その他	637	**469**
合計	52,232	**15,384**

信託業務の状況

金銭信託等の受入状況

(1) 受入状況

（単位：百万円）

	平成25年9月末	平成26年9月末
金銭信託	21,159,137	**23,418,054**
年金信託	15,467,758	**16,430,911**
財産形成給付信託	20,244	**18,516**
貸付信託	52,232	**15,384**
合計	36,699,373	**39,882,866**

（注）合計金額を信託資金量としております。

(2) 信託期間別元本残高

（単位：百万円）

	平成25年9月末		平成26年9月末	
	金銭信託	貸付信託	金銭信託	貸付信託
1年未満	291,300	－	**506,319**	**－**
1年以上2年未満	218,534	－	**654,750**	**－**
2年以上5年未満	1,179,531	5,228	**1,446,686**	**2,468**
5年以上	18,962,209	45,973	**20,186,879**	**12,292**
合計	20,651,576	51,202	**22,794,636**	**14,761**

(3) 1店舗当たり及び従業員1人当たりの信託資金量

（単位：百万円）

	平成25年9月末	平成26年9月末
1店舗当たりの信託資金量	311,011	**329,610**
従業員1人当たりの信託資金量	3,625	**3,954**

（注）1. 信託業務は国内で取扱っておりますので、店舗数は出張所を除く国内店舗数を使用しております。
2. 従業員数は国内店の期中平均人員を使用しております。なお、従業員数には本部人員を含んでおります。

金銭信託等の運用状況

※「金銭信託等の運用状況」における以下の各表の貸出金残高、有価証券残高は、金銭信託、財産形成給付信託にかかるものであります。

(1) 運用残高

（単位：百万円）

		平成25年9月末	平成26年9月末
金銭信託	貸出金	427,219	**635,345**
	有価証券	492,637	**853,404**
	計	919,857	**1,488,750**
財産形成給付信託	貸出金	43	**－**
	有価証券	－	**－**
	計	43	**－**
合計	貸出金	427,262	**635,345**
	有価証券	492,637	**853,404**
	計	919,900	**1,488,750**

(2) 貸出金の科目別残高

(単位：百万円、%)

	平成25年9月末	平成26年9月末
証書貸付	255,857 (59.9)	**354,540** **(55.8)**
手形貸付	171,405 (40.1)	**280,805** **(44.2)**
割引手形	― (―)	**―** **(―)**
合計	427,262 (100.0)	**635,345** **(100.0)**

(注)（ ）内は構成比であります。

(3) 中小企業等に対する貸出状況

(単位：百万円)

	平成25年9月末		平成26年9月末	
	貸出先数	金額	貸出先数	金額
総貸出金残高（A）	7,703件	427,262	**6,745件**	**635,345**
中小企業等に対する貸出金残高（B）	7,659	292,177	**6,630**	**456,094**
(B)/(A)	99.4%	68.3%	**98.2%**	**71.7%**

(注) 中小企業等とは、資本金3億円（ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円）以下の会社又は常用する従業員が300人（ただし、卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人）以下の企業等であります。

(4) 消費者ローン残高

(単位：百万円)

	平成25年9月末	平成26年9月末
消費者ローン残高	51,072	**43,514**
住宅ローン残高	44,990	**38,384**
その他ローン残高	6,081	**5,129**

(5) 貸出金の契約期間別残高

(単位：百万円)

	平成25年9月末	平成26年9月末
1年以下	195,780	**297,109**
1年超3年以下	18,502	**54,019**
3年超5年以下	60,924	**60,545**
5年超7年以下	54,148	**136,671**
7年超	97,906	**86,998**
合計	427,262	**635,345**

(6) 業種別貸出状況

(単位：百万円)

	平成25年9月末		平成26年9月末	
	金額	構成比	金額	構成比
製造業	6,150	1.4%	**5,550**	**0.9%**
運輸業、郵便業	2,384	0.6	**1,482**	**0.2**
卸売業、小売業	14,035	3.3	**4,235**	**0.7**
金融業、保険業	284,289	66.5	**442,814**	**69.7**
不動産業	9,580	2.2	**29,109**	**4.6**
物品賃貸業	14,200	3.3	**14,200**	**2.2**
地方公共団体	722	0.2	**―**	**―**
その他	95,901	22.5	**137,954**	**21.7**
合計	427,262	100.0	**635,345**	**100.0**

信託業務の状況

金銭信託等の運用状況

(7) 貸出金使途別残高

（単位：百万円、%）

	平成25年9月末	平成26年9月末
設備資金	82,164 (19.2)	**63,784** **(10.0)**
運転資金	345,098 (80.8)	**571,560** **(90.0)**
合計	427,262 (100.0)	**635,345** **(100.0)**

(注)（ ）内は構成比であります。

(8) 貸出金の担保別内訳

（単位：百万円）

	平成25年9月末	平成26年9月末
有価証券	19	**15**
債権	60	**23**
土地建物	25,786	**16,413**
財団	4	**—**
その他	129	**95**
小計	25,999	**16,547**
保証	47,135	**38,551**
信用	354,128	**580,245**
合計	427,262	**635,345**

(9) 1店舗当たり及び従業員1人当たりの貸出金残高

（単位：百万円）

	平成25年9月末	平成26年9月末
1店舗当たりの貸出金残高	3,620	**5,250**
従業員1人当たりの貸出金残高	42	**62**

(注) 1. 信託業務は国内で取扱っておりますので、店舗数は出張所を除く国内店舗数を使用しております。
2. 従業員数は期中平均人員を使用しています。なお、国内店の従業員数には本部人員を含んでおります。

(10) 有価証券運用の状況

（単位：百万円、%）

	平成25年9月末	平成26年9月末
国債	148,642 (30.2)	**181,993** **(21.3)**
地方債	29 (0.0)	**29** **(0.0)**
短期社債	— (—)	**—** **(—)**
社債	— (—)	**—** **(—)**
株式	30 (0.0)	**30** **(0.0)**
その他の証券	343,935 (69.8)	**671,350** **(78.7)**
合計	492,637 (100.0)	**853,404** **(100.0)**

(注)（ ）内は構成比であります。

個別信託の受託状況

(1) 年金信託業務

(単位：百万円)

	平成25年9月末	平成26年9月末
年金信託残高	15,467,758	**16,430,911**
受託件数	3,822件	**3,756件**

(2) 財産形成信託業務

	平成25年9月末	平成26年9月末
受託残高	1,009,571百万円	**978,209百万円**
事業所数	11,721カ所	**11,568カ所**
加入者数	406千人	**383千人**

(注) 財産形成信託の残高は、信託財産残高表の「金銭信託」及び「貸付信託」に計上されております。

(3) 証券信託業務

(単位：百万円)

	平成25年9月末	平成26年9月末
特定金銭信託・特定金外信託	1,892,294	**2,027,194**
指定金外信託	470,428	**388,890**
合計	2,362,722	**2,416,085**

(注) 1. 「金外信託」は「金銭信託以外の金銭の信託」の略称であります。
2. 「指定金外信託」の当社商品名はファンド・トラストであります。

総資金量

総資金量の推移

(単位：百万円)

	平成25年9月末	平成26年9月末
総資金量	65,223,829	**70,368,318**
預金	23,615,364	**23,887,174**
譲渡性預金	4,909,091	**6,598,278**
金銭信託	21,159,137	**23,418,054**
年金信託	15,467,758	**16,430,911**
財形給付信託	20,244	**18,516**
貸付信託	52,232	**15,384**

併営業務等の状況

公共債及び証券投資信託の窓口販売実績

（単位：百万円）

	平成25年度中間期	平成26年度中間期
国債	2,805	**2,993**
地方債・政府保証債	―	**―**
合計	2,805	**2,993**
証券投資信託	694,784	**716,803**

公共債のディーリング実績

（単位：百万円）

	平成25年度中間期	平成26年度中間期
売買高	368,664	**629,798**
商品国債	368,364	**628,698**
商品地方債	―	**200**
商品政府保証債	300	**900**
平均残高	40,962	**47,700**
商品国債	39,837	**46,528**
商品地方債	779	**470**
商品政府保証債	346	**702**

支払承諾の残高内訳

（単位：口、百万円）

		平成25年9月末	平成26年9月末
手形引受	口数	―	**1**
	金額	―	**878**
信用状	口数	6	**7**
	金額	5,306	**2,157**
保証	口数	2,086	**1,980**
	金額	323,426	**347,633**
合計	口数	2,092	**1,988**
	金額	328,733	**350,668**

不動産業務

		平成25年度中間期	平成26年度中間期
売買の媒介	件数	212件	**217件**
	取扱高	614,568百万円	**654,150百万円**
貸借の媒介	件数	18件	**21件**
土地信託契約受託件数		111件	**94件**

（注）「売買の媒介」件数及び取扱高には信託受益権の売買件数及び取扱高が含まれております。

証券代行業務

		平成25年度中間期	平成26年度中間期
受託会社数（期末現在）	（公開）	1,327社	**1,347社**
	（未公開）	912社	**908社**
	（合計）	2,239社	**2,255社**
管理株主数（期末現在）		20,936千人	**21,115千人**

貸倒引当金等の状況

貸倒引当金内訳

（単位：百万円）

	平成25年3月末	増加額	減少額		平成25年9月末
			目的使用	その他	
一般貸倒引当金	(133) 53,194	52,648	―	53,194	52,648
個別貸倒引当金	(161) 50,170	34,929	12,768	37,402	34,929
合計	(295) 103,364	87,577	12,768	90,596	87,577

	平成26年3月末	増加額	減少額		平成26年9月末
			目的使用	その他	
一般貸倒引当金	(316) 56,371	**53,392**	**―**	**56,371**	**53,392**
個別貸倒引当金	(267) 28,302	**17,667**	**1,013**	**27,288**	**17,667**
合計	(583) 84,673	**71,060**	**1,013**	**83,660**	**71,060**

（注）（　）内は為替換算差額を内訳表示しております。

	平成25年3月末	増減額	平成25年9月末
債権償却準備金	94	△12	82
特別留保金	526	△133	392
合計	620	△145	475

	平成26年3月末	増減額	平成26年9月末
債権償却準備金	76	**8**	**85**
特別留保金	249	**△95**	**153**
合計	326	**△87**	**238**

（単位：%）

資産区分	引当の状況	引当率	
		平成25年9月末	平成26年9月末
破綻先・実質破綻先	担保・保証等による保全のない部分の全額を個別貸倒引当金に繰入。	100.0	**100.0**
破綻懸念先	大口先（与信額50億円以上）については原則DCF法を適用。その他の債権については担保・保証等による保全のない部分に対して個別に回収可能性を見積もり、個別貸倒引当金に繰入。	66.8	**75.6**
要注意先		4.4	**5.6**
要管理先	貸倒実績率に基づく予想損失額を一般貸倒引当金に繰入。大口先（与信額50億円以上）については原則DCF法を適用。その他の債権については保全、非保全別に引当。	11.9	**12.0**
その他要注意先	貸倒実績率に基づく予想損失額を一般貸倒引当金に繰入。信用リスクに応じて一部の大口先（与信額50億円以上）については、原則DCF法を適用。その他の債権については、債務者をグルーピングの上、保全、非保全別に引当。	2.2	**2.7**
正常先	貸倒実績率に基づく予想損失額を一般貸倒引当金に繰入。信用リスク等に応じて、債務者をグルーピングの上、引当。	0.1	**0.1**

貸出金償却額

（単位：百万円）

	平成25年度中間期	平成26年度中間期
貸出金償却額	164	**156**

リスク管理債権の状況

（単位：百万円）

	平成25年9月末	平成26年9月末
銀行勘定		
破綻先債権額	737	**639**
延滞債権額	112,287	**88,294**
3カ月以上延滞債権額	—	**—**
貸出条件緩和債権額	112,265	**108,375**
合計	225,290	**197,309**
信託勘定		
破綻先債権額	—	**—**
延滞債権額	24,989	**16,164**
3カ月以上延滞債権額	—	**—**
貸出条件緩和債権額	316	**1,068**
合計	25,306	**17,232**
銀信合算		
総合計	250,596	**214,542**
貸出金残高		
銀行勘定	22,961,343	**24,621,421**
信託勘定	107,793	**73,626**

（注）部分直接償却（平成25年9月末34,214百万円、平成26年9月末14,968百万円）後の計数。

金融再生法に基づく資産査定の開示及び保全率

（単位：百万円、%）

種類	平成25年9月末 債権金額 (A)	担保・保証等による保全額 (B)	引当金額 (C)	引当率 (C/(A−B))	保全率 ((B+C)/A)	平成26年9月末 債権金額 (A)	担保・保証等による保全額 (B)	引当金額 (C)	引当率 (C/(A−B))	保全率 ((B+C)/A)
銀行勘定										
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	11,313	6,650	4,663	100.0	100.0	**9,433**	**4,958**	**4,475**	**100.0**	**100.0**
危険債権	110,946	86,290	16,504	66.9	92.6	**84,898**	**68,085**	**12,713**	**75.6**	**95.1**
要管理債権	112,265	64,990	12,544	26.5	69.0	**108,375**	**65,016**	**12,327**	**28.4**	**71.3**
小計	234,525	157,930	33,712	44.0	81.7	**202,707**	**138,060**	**29,516**	**45.6**	**82.6**
正常債権	23,267,739					**24,949,047**				
合計	23,502,264					**25,151,754**				
信託勘定										
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	11	11				**11**	**11**			
危険債権	24,978	24,954				**16,152**	**16,152**			
要管理債権	316	316				**1,068**	**1,068**			
小計	25,306	25,283			99.9	**17,232**	**17,232**			**100.0**
正常債権	82,487					**56,393**				
合計	107,793					**73,626**				
銀信合算										
総合計	23,610,057					**25,225,381**				

（注）部分直接償却（平成25年9月末35,066百万円、平成26年9月末15,890百万円）後の計数。

資本・株式の状況

資本金の推移

（単位：百万円）

区分	平成24年度中間期	平成25年度中間期	平成26年度中間期	平成24年度	平成25年度
増加の内訳					
新株の発行	－	－	**－**	－	－
新株予約権の権利行使	－	－	**－**	－	－
合計	－	－	**－**	－	－
資本金	342,037	342,037	**342,037**	342,037	342,037

発行済み株式数の内容

（平成26年9月30日現在）

種類	発行数（株）	上場金融商品取引所名	摘要
普通株式	1,674,537,008	－	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式。なお、単元株式数は1,000株であります。
第１回第二種優先株式	109,000,000	－	単元株式数は1,000株であります。
計	1,783,537,008		

（注）第1回第二種優先株式は、平成26年7月31日開催の取締役会の決議に基づき、平成26年10月1日付にて取得及び消却しております。

資本・株式の状況

株式の所有者別状況

①普通株式　（平成26年9月30日現在）

区分	株主数（人）	所有株式数（単元）	割合（%）
政府及び地方公共団体	―	―	―
金融機関	―	―	―
金融商品取引業者	―	―	―
その他の法人	1	1,674,537	100.00
外国法人等			
（個人以外）	―	―	―
（個人）	―	―	―
個人・その他	―	―	―
計	1	1,674,537	100.00

単元未満株式の状況	8株

（注）1単元の株式数は1,000株であります。

②第１回第二種優先株式　（平成26年9月30日現在）

区分	株主数（人）	所有株式数（単元）	割合（%）
政府及び地方公共団体	―	―	―
金融機関	―	―	―
金融商品取引業者	―	―	―
その他の法人	1	109,000	100.00
外国法人等			
（個人以外）	―	―	―
（個人）	―	―	―
個人・その他	―	―	―
計	1	109,000	100.00

単元未満株式の状況	

（注）1.　1単元の株式数は1,000株であります。
　　2.　第1回第二種優先株式については、平成26年10月1日付で当社が全ての株式を取得し消却しております。

大株主

①普通株式　（平成26年9月30日現在）

株主名	所有株式数（株）	持株比率（%）
三井住友トラスト・ホールディングス株式会社	1,674,537,008	100.00
計	1,674,537,008	100.00

②第１回第二種優先株式　（平成26年9月30日現在）

株主名	所有株式数（株）	持株比率（%）
三井住友トラスト・ホールディングス株式会社	109,000,000	100.00
計	109,000,000	100.00

（注）第1回第二種優先株式については、平成26年10月1日付で当社が全ての株式を取得し消却しております。